目次

健康医療学部

<₹	看護学科>	ページ
1.	調査対象大学等の概要等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 1
2.	授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 5
3.	施設・設備の整備状況、経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 17
4.	既設大学等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 19
5.	教員組織の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 20
6.	附帯事項等に対する履行状況等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 31
7.	その他全般的事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 33

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

学校法人 光星学院

- (2) 大 学 名 八戸学院大学
- (3) 調査対象大学等の位置

〒031-8588 青森県八戸市美保野13-98

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を())書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。

(4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備考
理事長	(ホウガン シンイチ) 法官 新一 (平成25年4月1日)		
学 長	(ホウガン シンイチ) 法官 新一 (平成30年4月1日)	(ミズノ マサオ) 水野 眞佐夫 (平成31年4月1日)	法官学長退任に伴い、後任と して水野学長が就任(元)
学 部 長	(エンドゥ モリト) 遠藤 守人 (平成28年4月1日)		
学科長等	(tl/y ユミ) 蛭田 由美 (平成28年4月1日)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例) 平成30年度に報告済の内容 → (30) 令和元年度に報告する内容 → (元)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 - ・ <u>なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位</u> <u>(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。</u>
 - ・ <u>様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)です</u>が、 完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、 5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科の		設 置 時		備考	
名称 (学位)	分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	γ π 75
健康医療学部 看護学科	保健衛生学関係 (看護学関係)	年 4	人	年次 人 一	人 320	
学士(看護)						

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -(2) 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平均入学定員		備考
区分	春季入学 その他の学期	超 過 率	の平均入学定 員超過率	INH 22				
	۸ ۸	80 人 人	80 人 人	80 人 人	80 人 人			
A 入学定員	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]			
志願者数		88	120	118	103			
TO MAK II SA								
		86	115	113	100			
受験者数	(-)(-)	(-)(-)	(-)(-)	(-)(-)	(-)(-)	0.83 倍	一 倍	
		83	115		98			
合格者数 合格者数		83	115	113	98			
口怕有奴								
		69	67	74	57			
B 入学者数	(-) (-)	(-)	(-)(-)	(-)(-)	(-)(-)			
入学定員超過率		0.86	0.83	0. 92	0.71			
B/A		0. 00	0. 03	0. 92	0.71			

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ () 内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・ <u>転入学生は記入しない</u>でください。
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - · 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 - ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

Ż	対象年度	平成2	7 年度	平成2	8 年度	平成2	9年度	平成 3	0 年度	令和力	元年度	備	考
学 年		春季入学	その他の学期	I/H3	·								
		_	_	69	0	67	0	74	0	57	0		
1年	次	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
						68	0	65	0	71	0		
2年	次			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
				(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
								64	0	62	0		
3 年	次					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
						(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
								_	_	62	0		
4年	次							[-]	[-]	[-]	[-]		
								(-)	(-)	(-)	(-)		
		-	_	6	9	13	35	2	03	2	52		
計		[-	-]	[-	-]	[-	-]	[-	-]	[-	-]		
		(-	-)	(-	-)	(-	-)	(-	-)	(-	-)		

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・() 内には、<u>留年者の状況について、内数で記入</u>してください。<u>該当がない年には「一」を記入</u>してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数

 を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	******	坦克本料/ \		内訳		主な退学理由
対象年度	在字首数(b)	退学者数(a)	入学した年度	退学	者数	(留学生の理由は[]書き)
A) & T/Q			77,072+12		うち留学生数	
平成27年度	0 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人	
平成28年度	69 人	1 人	平成27年度	0 人	0 人	
十成20千及	00 X	- 1	平成28年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)
			平成27年度	0 人	0 人	
平成29年度	135 人	5 人	平成28年度	3 人	0 人	就職(1人) 他の教育機関への入学・転学(2人)
			平成29年度	2 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(1人) 他の教育機関への入学・転学(1人)
			平成27年度	0 人	0 人	
平成30年度	204 人	8 人	平成28年度	3 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(3人)
干成50平及	204 人	0 人	平成29年度	3 人	0 人	他の教育機関への入学・転入(2名) その他(1名)
			平成30年度	2 人	0 人	家庭の事情(1名) 除籍(1名)
			平成27年度	0 人	0 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
令和元年度	253 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
合 計		14 人		14 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(<u>在学者数から退学者数を減らす必要はありません。</u>)
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - - がは、一旦に対しては、一旦に対しては、

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】 平成27年度の退学者数(a) 平成27年度の在学者数(b) #DIV/0! - = -% 【平成28年度】 平成28年度の退学者数(a) 平成28年度の在学者数(b) 1.44 【平成29年度】 平成29年度の退学者数(a) 平成29年度の在学者数(b) 【平成30年度】 平成30年度の退学者数(a) 平成30年度の在学者数(b) 3.92 【令和元年度】 令和元年度の退学者数(a) 令和元年度の在学者数(b) 0 - = -%

(注) · 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<健康医療学部 看護学科>

(1)一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

投票科目の名称					配	Ĺ	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
「宗教学 4枚 2				授業科目の名称	年	必	選	自	教		講	助	助	
中域文化論					次	修	択	由	授		師	教	手	
地域文化論 1秋 2 1 1 5 3 3 1 5 3 3 1 5 3 3 1 5 3 3 1 5 3 3 1 5 3 3 1 5 3 3 1 5 3 3 1 5 3 3 3 3 3 3 3 3 3				宗教学	4秋	2								1
導入教育				キリスト教概論	1春	2								1
及数音		,	*	地域文化論	1秋	2								1
情報処理基礎 1春		زا		基礎演習	1春	1				1	5	3		
日本語リテラシー 1春 1 2 2 2 2 3 1 4 2 2 3 1 3 3 3 3 3 3 3 3 4 2 1 4 4 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4				プレゼンテーション	1秋	1				1	5	3		
日本語表現リテラシー 1秋				情報処理基礎	1春	1								2
英語 I 1春 1 外国語を 学ぶ領域 (TOEIC) I 2春 1 英語 (TOEIC) I 2春 1 英語 (TOEIC) I 2枚 1 方 (TOEIC) II 2枚 1 1 (T Y) (T Y				日本語リテラシー	1春	1								2
大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大				日本語表現リテラシー	1秋		1							2
国語を学ぶ領域				英語 I	1春		1							2
語				英語Ⅱ	1秋		1							2
学		Ē	吾	英語コミュニケーション	2春		1							1
大・マ語コミュニケーション 1秋				英語 (TOEIC) I	2春		1							1
1		į	5,	英語 (TOEIC) Ⅱ	2秋		1							1
ルアーツ				ドイツ語	1春		1							1
T	5			ドイツ語コミュニケーション	1秋		1							1
大字 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ア		人	哲学	1・2春秋		2							1
大字 1 1 1 1 1 1 1 1 1		を学	l	芸術論	1・2春秋		2							1
大字 1 1 1 1 1 1 1 1 1		\$	ての	デザイン論	1・2春秋		2							1
大 行動の科学		領域	あ	心の科学	1・2春秋		2							1
日本国憲法 1-2巻秋 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1				行動の科学	1・2春秋		2							1
のあり方を 日本国憲法 1-284k 2 1 域方方を 社会学 1-284k 2 1 世界関係論 1-284k 2 1 海外事情 1-284k 2 1 管を数域学とぶ料 1-284k 2 1 水計(29科目) 1-284k 2 1 本代の科学版論 1-284k 2 1 本代の科学版論 1-284k 2 4 本代の科学基礎 1 1 1 本行門 日本 1 1 1 本 1 <				歴史学	1・2春秋		2							1
リ 放治学 1-2年秋 2 1 1 1			の	日本国憲法	1・2春秋		2							1
方 社会学 1-28株 2 1 学 国際関係論 1-28株 2 1 海外事情 1-28株 2 1 学自自復を然数学とぶ科 2 1 1 水計(29科目) - 10 36 0 1 5 3 兼21 本報費育のための生物基礎 日春 日 日 福援教育のための科学基礎 日春 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日		4-4-1	LI	政治学	1・2春秋		2							1
学 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		项	カ	社会学	1・2春秋		2							1
領 海外事情 1-2巻枚 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			学	国際関係論	1・2春秋		2							1
## 12				海外事情	1・2春秋		2							1
域学と 32 1 4 4 4 4 4 4 4 4 4		Ė	学自	自然科学概論	1・2春秋		2							1
ぶ科 スポーツの科学 1-28枚 2 4 小計(29科目) - 10 36 0 1 5 3 兼21 専事科門目導 看護教育のための科学基礎 1春 1 1 1 教育科目と生命と倫理 1春 1 1 4 生命と倫理 1春 1 1 1				数学	1・2春秋		2							1
専事 入専科門 科門 看護教育のための生物基礎 1春 1 打 看護教育のための科学基礎 1春 1 教育 人間 健康医療総論 1春 2 1 社会 と生命と倫理 1春 2 1 1				スポーツの科学	1・2春秋		2							4
専門目導 看護教育のための科学基礎 1春 1 1 教育 科目目 健康医療総論 1春 2 1 4 と 生命と倫理 1春 2 1 1				小計(29科目)	-	10	36	0		1	5	3		兼21
門 目導 看護教育のための科学基礎 1春 1 1 教育 人間 健康医療総論 1春 2 1 4 科目 と生命と倫理 1春 2 1 1	_			看護教育のための生物基礎	1春		1							1
教育 人間 付替 と生命と倫理 日 (健) (理) (日本のと) (日本のと)				看護教育のための科学基礎	1春		1		1					
科				健康医療総論	1春	2			1					4
L L L R R R R R R R R R R R R R R R R R	科		٤	生命と倫理	1春	2			1					1
┃	H			人間発達学	1春	2								1

【令和元年度】

			配	<u>í</u>	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
	科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
			次	修	択	由	授	叙 授	師	教	手	担
		宗教学	4秋	2								1
		キリスト教概論	1秋	2								1
	***	地域文化論	1秋	2								1
	導 入 教	基礎演習	1春	1			1	4	5	1		
	教育	プレゼンテーション	1秋	1			1	4	5	1		
	-	情報処理基礎	1春	1								2
		日本語リテラシー	1春	1								2
		日本語表現リテラシー	1秋		1							2
		英語 I	1春		1							3
	外	英語Ⅱ	1秋		1							3
	国語	英語コミュニケーション	2春		1							1
	を 学	英語 (TOEIC) I	2春		1							1
	ぶ	英語 (TOEIC) II	2秋		1							1
リベ	領 域	ドイツ語	1春		1							1
ヘラル		ドイツ語コミュニケーション	1秋		1							1
ア	人	哲学	1・2春秋		2							1
ĺ l ツ	を学ぶ領1	芸術論	1・2春秋		2							1
	ディ	デザイン論	1・2春秋		2							1
	領あり	心の科学	1・2春秋		2							1
	カ	行動の科学	1・2春秋		2							1
	社	歴史学	1・2春秋		2							1
	会の	日本国憲法	1・2春秋		2							1
	あい	政治学	1・2春秋		2							1
	學方	社会学	1・2春秋		2							1
	を 学	国際関係論	1・2春秋		2							1
	ぶ 領	海外事情	1・2春秋		2							1
	学自	自然科学概論	1・2春秋		2							1
	領を然	数学	1・2春秋		2							1
	域学と ぶ科	スポーツの科学	1・2春秋		2							3
		小計(29科目)	-				1	4	5	1		兼21
	入専	看護教育のための生物基礎	1春		1		1					
専門	科門 目導	看護教育のための科学基礎	1春		1							1
教育	, , ,		1春	2			1					6
科	日と		1春	2			1					1
目	優	1 88 26 14 444	1春	2								1
ш	月	. 1				<u> </u>					<u> </u>	

【認可時又は届出時】

【令和元年度】

	と可	時又	は届出時】										
				配	Ĺ	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
	科目 区分		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
				次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
			解剖生理学 I	1春	2								2
			解剖生理学Ⅱ	1秋	2								2
		١.	病態学 I	2春	2			1					1
		人間	病態学Ⅱ	2春	2			1					1
		と健	病態学Ⅲ	2春	2			1					1
		康	病態学Ⅳ	2秋	2			1					1
	専門		薬理学	2春	2								1
	基		栄養学	1秋	1								1
	礎科		微生物学	1秋	1								1
	目		社会福祉論	1秋	1								1
			公衆衛生学	2春	1								1
		環境	疫学	2秋	2								1
		۲	保健統計学 I	2春	1								1
専			保健統計学Ⅱ	2秋		1							1
門			保健医療福祉行政論 I	3春	1								1
教			保健医療福祉行政論Ⅱ	3春	1								1
			看護学概論	1春	2			1					
育			日常生活援助論	1春	2				1				1
科		介	回復促進援助論	1秋	2				1				1
目		護	看護過程論	2春	2				1				
		の基	ヘルスアセスメント	1秋	1				1				
		本	看護倫理	2春	1			1					
			基礎看護学実習 I	1春	1			1	2	3	4	5	3
	専		基礎看護学実習Ⅱ	2秋	2			1	2	3	4	5	3
	門科	成	成人看護学概論	2春	2			1					
	Ħ	人成看	成人看護援助論 I	2秋	2			1		1			
		人護	成人看護援助論Ⅱ	2秋	2			1		1			
		護展	成人看護学実習 I	3枚~4春	3						3	1	3
		護機開	成人看護学実習Ⅱ	3枚~4春	3						3	1	3
		看護	高齢者看護学概論	2春	2			1					
		者属	高齢者看護援助論	2秋	2			1	1		1		
		看開護・	高齢者看護学実習 I	3枚~4春	1				3	1	3	2	
		高齢	高齢者看護学実習Ⅱ	3枚~4春	3				2	1	1	1	
				ш				Ь				-	ш

				配	Ĺ	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
	科目区分		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	兼
				次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	栽担
			解剖生理学 I	1春	2								2
			解剖生理学Ⅱ	1秋	2								2
			病態学 I	2春	2			1					4
		人間	病態学Ⅱ	2春	2			1					4
		と健	病態学Ⅲ	2春	2			1					3
		康	病態学Ⅳ	2秋	2			1					6
	専		薬理学	2春	2								1
	門基		栄養学	1秋	1								1
	礎科		微生物学	1秋	1								1
	B		社会福祉論	1秋	1								1
			公衆衛生学	2春	1								1
		環境	疫学	2秋	2								1
車		と健	保健統計学 I	2春	1								1
4		康	保健統計学Ⅱ	2秋		1							1
門			保健医療福祉行政論 I	3春	1								1
教			保健医療福祉行政論Ⅱ	3春	1								1
			看護学概論	1春	2			2					
育			日常生活援助論	1春	2			1			2		
科		介	回復促進援助論	1秋	2			1			2		
		護の	看護過程論	2春	2			1					
目		基	ヘルスアセスメント	1秋	1			1					
		本	看護倫理	2春	1			1					
			基礎看護学実習 I	1春	1			1	3	2	4	3	2
	専		基礎看護学実習Ⅱ	2秋	2			2	4	3	3	3	2
	門科	成	成人看護学概論	2春	2			1					
	目	人 成看	成人看護援助論 I	2秋	2			1		2			
		人護 看の	成人看護援助論Ⅱ	2秋	2			1		2			
		-# =	成人看護学実習I	3秋~4春	3					2	2	1	0
		1913	成人看護学実習Ⅱ	3秋~4春	3					2	2	1	2
		看護	高齢者看護学概論	2春	2			1					
		者属	高齢者看護援助論	2秋	2			1	0	1	0		
		護・	高齢者看護学実習 I	3秋~4春	1			1	0	2	0	0	1
		恒貓	高齢者看護学実習Ⅱ	3秋~4春	3				2	1	0	0	2

【認可時又は届出時】

				配	<u>i</u>	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
	科目 区分		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	· 兼
				次	修	択	由	授	教 授	舖	教	手	担
		看護	小児看護学概論	2秋	2			1					
		の 看展	小児看護援助論	3春	2			1		1			1
		護開	小児看護学実習 I	3枚~4春	1			1		2		3	
		小児	小児看護学実習Ⅱ	3枚~4春	1			1		2		1	
		看護の	母性看護学概論	2秋	2			1					
		看展展開	母性看護援助論	3春	2			1		1			
		性	母性看護学実習	3秋~4春	2			1		1	1		1
		看護の	精神看護学概論	2秋	2			1					
		看展展開	精神看護援助論	3春	2			1		2	1		
		精神	精神看護学実習	3秋~4春	2					2	1		1
		看護の	在宅看護学概論	2秋	2			1					
		の 看展 展開	在宅看護援助論	3春	2			1	1				
		在宅	在宅看護学実習	3秋~4春	2			1	1	1	1	1	
			統合看護論	3春	2			1					
卓			チーム医療論	3春	1			1	1				
۹ I			医療安全論	2春	1			1					
,	専門	看	看護管理論	3春	1			1					
	科目	護の	看護教育論	4秋		1		1					
Ī	н	統	家族看護論	2春	1				1				
		合・	救急看護	4秋		1							1
1		看護	リハビリテーション看護	4秋		1					1		
		の 発	緩和ケア論	4秋		1		1					
		展	災害看護活動論	3秋	1								1
			国際看護活動論	3春	1			1					
			僻地看護活動論	4秋	1					1			
			統合看護実習	3秋~4春	2			1	1	5	4	5	3
			公衆衛生看護学概論	3春		2		1					
		公	公衆衛生看護支援論	3春		2			1				
		衆衛	公衆衛生看護活動展開論	3春		2				1			
		生看	公衆衛生看護管理論	4秋		1		1					
		有 護	公衆衛生看護学実習 I	4秋		2		1		1		1	
			公衆衛生看護学実習 Ⅱ	4秋		3		1		1		1	
		看.滋	看護学研究法	3春	2				1				
っ 変の 一 一 看護卒業研究			4通	2			9	3	3				
小計(72科目)			-	101	19	0	9	3	6	6	5	兼10	
_		A = I	(101科目)		111	55	0	7	5	6		_	_

卒業要件及び履修方法

・リベラルアーツ(29科目):必修科目10単位、選択必修科目8単位、選択科目8単位以上 ※リベラルアーツで26単位以上履修 専門導入科目(2科目):選択必修科目1単位

・専門導入科目 (2科目):選択必修科目1単位 ・専門基礎科目 (19科目):必修科目29単位 ・専門科目(51科目):必修科目72単位 合計:必修科目11単位、選択必修科目9単位(リベラル8単位、専門導入1単位)、選択科目 8単位以上(リベラル)、合計128単位以上 ・保健師国家試験受験希望者は、卒業要件を満たし、専門基礎科目の環境と健康の科目群から「保機計学Ⅱ」の1科目1単位、専門科目の公衆衛生看護の科目群から「公衆衛生看護学概論」「公衆衛生看護支援論」「公衆衛生看護学裏習Ⅱ」の6科目12単位、単位数合計141単位以上を履修すること。

【令和元年度】

				配	í	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分 授業科目の名称				当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
		_		次	修	択	由	授	授	舖	教	手	担
		看護	小児看護学概論	2秋	2			1	1				
		看展	小児看護援助論	3春	2			1	1	0			1
		護開・小	小児看護学実習 I	3秋~4春	1			1	1	0		1	
		児	小児看護学実習Ⅱ	3秋~4春	1			1	1	0		1	
		看護の	母性看護学概論	2秋	2			1	1				1
		看展展開	母性看護援助論	3春	2			1	1	0			
		性性	母性看護学実習	3秋~4春	2			0	1	0	1		0
		看護の	精神看護学概論	2秋	2			1	1				
		看展展開	精神看護援助論	3春	2			1	1	1	0		
		#A 29	精神看護学実習	3秋~4春	2				1	1	0		0
		看護	在宅看護学概論	2秋	2			1					
		の 看展 護関	在宅看護援助論	3春	2			1	1				
		在宅	在宅看護学実習	3秋~4春	2			0	1	0	0	1	
			統合看護論	3春	2			1					
専			チーム医療論	3春	1			1	1				1
門			医療安全論	2春	1			1	1				
	専門	看	看護管理論	3春	1			1		1			
教	科	護の	看護教育論	4秋		1		1					
育	目	統	家族看護論	2春	1				1				
科		合・	救急看護	4秋		1							1
目		看護	リハビリテーション看護	4秋		1			2	1	0		
		の	緩和ケア論	4秋		1		1	_	1	_		
		発展	災害看護活動論	3春	1			Ė					2
			国際看護活動論	4秋	1			1			1		_
			僻地看護活動論	4秋	1			Ċ		1			
			統合看護実習	3秋~4春	2			1	1	6	4	5	2
			公衆衛生看護学概論	3春		2		1	1	•	7		_
		公	公衆衛生看護支援論	3春		2		'	1				
		衆	公衆衛生看護活動展開論	3春		2			1	1			
		衛生	公衆衛生看護管理論	3春		1		1	'	'			
		看護	公衆衛生看護学実習Ⅰ	4秋		2		1	1	1		1	
		政				_				1		1	
		看	公衆衛生看護学実習Ⅱ 看護学研究法	4秋	_	3		1	1	1		1	
		究護の		3春	2			1	0	_			
		研	看護卒業研究	4通	2			9	5	5	0	_	***
\vdash	小計(72科目)			_				10	5	5	5	4	兼35
	合計(101科目)							10	5	5	5	4	兼54

卒業要件及び履修方法

・リベラルア―ツ(29科目): 必修科目10単位、選択必修科目8単位、選択科目8単位以上 ※リベラルア―ツで26単位以上履修 ・専門導入科目(2科目): 選択必修科目1単位

-専門導入科目(2科目):選択必修科目1単位
-専門基礎科目(19科目):必修科目29単位
-専門基礎科目(19科目):必修科目29単位
- 寺門科目(51科目):必修科目72単位
- 合計:必修科目111単位、選択必修科目9単位(リベラル8単位、専門導入1単位)、選択科目
8単位以上(リベラル)、合計128単位以上
- 保健師国家試験受験希望者は、卒業要件を満たし、専門基礎科目の環境と健康の科目群から「保統計学II」の1科目1単位、専門科目の公衆衛生看護の科目群から「公衆衛生看護学展論」「公衆衛生護学展論」「公衆衛生看護で理論」「公衆衛生看護学実習 I」「公衛生看護学実習 I」「公衛生看護学実習 I」「公衛生看護学実習 I」「公衛生看護学実習 I」「公衛生看護学実習 I」の6科目12単位、単位数合計141単位以上を履修する

【平成28年度】

【平成29年度】

	一队	2 0	年度】 			W / L N	u_		. 1		O T7	œ	兼
	科目			配当		单位数					の配		任
	区分		授業科目の名称	年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
				次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
			宗教学	4秋	2								1
			キリスト教概論	1春	2								1
	ži	į.	地域文化論	1秋	2								1
	7	Ĺ	基礎演習	1春	1				1	4	3		
		文	プレゼンテーション	1秋	1				1	4	3		
	F	Ī	情報処理基礎	1春	1								2
			日本語リテラシー	1春	1								2
			日本語表現リテラシー	1秋		1							2
			英語 I	1春		1							1
		r F	英語Ⅱ	1秋		1							2
		吾	英語コミュニケーション	2春		1							1
	7 ±	<u>+</u>	英語 (TOEIC) I	2春		1							1
IJ		, ,	英語 (TOEIC) II	2秋		1							1
べ		頁載	ドイツ語	1春		1							1
ラル	ц	义	ドイツ語コミュニケーション	1秋		1							1
ア	ι	人	哲学	1-2春秋		2							1
	7	ちと	芸術論	1・2春秋		2							1
ツ	域	をし きて	デザイン論	1-2春秋		2							1
	į.	ぶの	心の科学	1-2春秋		2							1
	f	頁あ	行動の科学	1-2春秋		2							1
		社	歴史学	1-2春秋		2							1
		会の	日本国憲法	1・2春秋		2							1
	ぶ	あ	政治学	1-2春秋		2							1
	領域	IJ	社会学	1-2春秋		2							1
		力 を	国際関係論	1-2春秋		2							1
		学	海外事情	1-2春秋		2							1
		自	自然科学概論	1・2春秋		2							1
	領領域等	と然	数学	1-2春秋		2							1
		以科	スポーツの科学	1-2春秋		2							3
			小計(29科目)	-									
専	科為		看護教育のための生物基礎	1春		1		1					
門	目力	八門	看護教育のための科学基礎	1春		1							1
教育		人間	健康医療総論	1春	2			1					4
科		٤	生命と倫理	1春	2			1					1
目		健康	人間発達学	1春	2								1

	***			配	Ĺ	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
	科目区分		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	
				次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
			宗教学	4秋	2								1
			キリスト教概論	1春	2								1
	禅	á	地域文化論	1秋	2								1
	,		基礎演習	1春	1				2	5	3		
	教育		プレゼンテーション	1秋	1				2	5	3		
	F	Í	情報処理基礎	1春	1								2
			日本語リテラシー	1春	1								2
			日本語表現リテラシー	1秋		1							2
	5º		英語 I	1春		1							1
	国		英語Ⅱ	1秋		1							1
	語		英語コミュニケーション	2春		1							1
	を 学		英語 (TOEIC) I	2春		1							1
IJ	Š	ř	英語 (TOEIC) II	2秋		1							1
ベ	領域		ドイツ語	1春		1							1
ラル	19		ドイツ語コミュニケーション	1秋		1							1
アー	IJ	人	哲学	1・2春秋		2							1
リッ	7.	٤	芸術論	1-2春秋		2							1
9	域常	とし	デザイン論	1-2春秋		2							1
	ડે	この	心の科学	1-2春秋		2							1
	領	頁あ	行動の科学	1-2春秋		2							1
		社	歴史学	1-2春秋		2							1
		会の	日本国憲法	1-2春秋		2							1
	が領	あ	政治学	1・2春秋		2							1
	域	り	社会学	1・2春秋		2							1
		ク を	国際関係論	1・2春秋		2							1
		学	海外事情	1・2春秋		2							1
		自	自然科学概論	1-2春秋		2							1
	領を域学		数学	1-2春秋		2							1
		は科	スポーツの科学	1・2春秋		2							3
			小計(29科目)	-									
専	科導		看護教育のための生物基礎	1春		1		1					
門	日み		看護教育のための科学基礎	1春		1							1
教育		人間	健康医療総論	1春	2			1					4
科		と健	生命と倫理	1春	2			1					1
ш		康	人間発達学	1春	2								1

				配	į	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任				
	科目区分		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助			科目区分		Ħ
				次	修	択	ш	授	教授	師	教	手	兼担				
			解剖生理学 I	1春	2								2				解剖
			解剖生理学Ⅱ	1秋	2								2				解剖
		١.	病態学 I	2春	2			1					1			١.	病態
		人間	病態学Ⅱ	2春	2			1					1			人間	病態
		٤	病態学Ⅲ	2春	2			1					1			٤	病態
		健康	病態学Ⅳ	2秋	2			1					1			健康	病態
	専門	IA.	薬理学	2春	2								1		専門	IAC.	薬理
	基		栄養学	1秋	1								1		基		栄養
	礎		微生物学	1秋	1								1		礎科		微生
	科目		社会福祉論	1秋	1								1		目		社会
		~m	公衆衛生学	2春	1								1				公衆
		環境	疫学	2秋	2								1			環境	疫学
専		٤	保健統計学 I	2春	1								1	専		٤	保健
門		健康	保健統計学Ⅱ	2秋		1							1	門		健康	保健
[]		- 原	保健医療福祉行政論 I	3春	1								1	[-]		凉	保健
教			保健医療福祉行政論Ⅱ	3春	1								1	教			保健
			看護学概論	1春	2			1									看護
育			日常生活援助論	1春	2				1				1	育			日常
ī-i		介	回復促進援助論	1秋	2				1				1	1 -1		介	回復
科		護の	看護過程論	2春	2				1					科		護の	看護
B		基	ヘルスアセスメント	1秋	1				1					le		基	ヘル
_		本	看護倫理	2春	1			1						-		本	看護
			基礎看護学実習 I	1春	1			1	2	3	4	5	3				基礎
	専		基礎看護学実習Ⅱ	2秋	2			1	2	3	4	5	3		専		基礎
	門科	開成	成人看護学概論	2春	2			1							門科	開成	成人
	目	・人	成人看護援助論 I	2秋	2			1		1					目	・人	成人
		成看 人護	成人看護援助論Ⅱ	2秋	2			1		1						成看 人護	成人
		看の	成人看護学実習 I	3秋~4春	3						3	1	3			看の	
		護展	成人看護学実習Ⅱ	3秋~4春	3						3	1	3			護展	成人
		_京 看	高齢者看護学概論	2春	2			1								_本 看	高齢
		齢の	高齢者看護援助論	2秋	2			1	0		1					高齢者	高齢
		高齢者看護の展開・	高齢者看護学実習 I	3秋~4春	1				1	1	3	2				お看護	高齢
		護	高齢者看護学実習Ⅱ	3秋~4春	3				0	1	1	1				護。	高齢

				配	Ĺ	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
	科目 区分		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	
	-//			次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
			解剖生理学 I	1春	2								2
			解剖生理学 Ⅱ	1秋	2								2
		١.	病態学I	2春	2			1					4
		人間	病態学Ⅱ	2春	2			1					2
		٤	病態学Ⅲ	2春	2			1					3
		健康	病態学Ⅳ	2秋	2			1					7
	専門	1AC	薬理学	2春	2								1
	基		栄養学	1秋	1								1
	礎		微生物学	1秋	1								1
	科目		社会福祉論	1秋	1								1
			公衆衛生学	2春	1								1
		環境	疫学	2秋	2								1
専		کے	保健統計学 I	2春	1								1
		健康	保健統計学Ⅱ	2秋		1							1
門		康	保健医療福祉行政論 I	3春	1								1
教			保健医療福祉行政論Ⅱ	3春	1								1
3,			看護学概論	1春	2			1					
育			日常生活援助論	1春	2				1				0
		介	回復促進援助論	1秋	2				1				0
科		護	看護過程論	2春	2				1				
目		の基	ヘルスアセスメント	1秋	1				1				
		本	看護倫理	2春	1			1					
			基礎看護学実習 I	1春	1			1	3	4	4	5	1
	専		基礎看護学実習 Ⅱ	2秋	2			1	3	4	4	5	3
	門科	開成	成人看護学概論	2春	2			1					
	目	・人	成人看護援助論 I	2秋	2			1		1			
		成看 人護	成人看護援助論Ⅱ	2秋	2			1		1			
		人護看の	成人看護学実習I	3秋~4春	3						3	1	3
		護展	成人看護学実習Ⅱ	3秋~4春	3						3	1	3
		_ 看	高齢者看護学概論	2春	2			1					
		高齢さ	高齢者看護援助論	2秋	2			1	0		1		
		者 居 居	高齢者看護学実習 I	3秋~4春	1				2	2	3	2	
		護:	高齢者看護学実習Ⅱ	3秋~4春	3				1	1	1	1	

				配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
	科目区分		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	-
				次	修	択	ф	授	教授	師	教	手	兼担
		看	小児看護学概論	2秋	2			1					
		小護児の	小児看護援助論	3春	2			1		1			1
		看展護開	小児看護学実習 I	3枚~4春	1			1		2		3	
			小児看護学実習 Ⅱ	3秋~4春	1			1		2		1	
		看護	母性看護学概論	2秋	2			1					
		性の 看展 護関	母性看護援助論	3春	2			1		1			
			母性看護学実習	3秋~4春	2			1		1	1		1
		看護	精神看護学概論	2秋	2			1					
		神の 看展 護関	精神看護援助論	3春	2			1		1	1		
		精	精神看護学実習	3秋~4春	2					1	1		1
		看援	在宅看護学概論	2秋	2			1					
		宅の 看展 護関	在宅看護援助論	3春	2			1	1				
		在	在宅看護学実習	3枚~4春	2			1	1	1	1	1	
_			統合看護論	3春	2			1					
専			チーム医療論	3春	1			1	1				
門	車	看	医療安全論	2春	1			1					
教	門	護	看護管理論	3春	1			1					
72	科目	o د	看護教育論	4秋		1		1					
育	В	統合	家族看護論	2春	1				1				
科			救急看護	4秋		1							1
		看護	リハビリテーション看護	4秋		1					1		
目		_o	緩和ケア論	4秋		1		1					
		発展	災害看護活動論	3秋	1								1
		放	国際看護活動論	3春	1			1					
			僻地看護活動論	4秋	1					1			
			統合看護実習	3秋~4春	2			1	1	4	4	5	3
			公衆衛生看護学概論	3春		2		1					
		公衆	公衆衛生看護支援論	3春		2			1				
		衛	公衆衛生看護活動展開論	3春		2				1			
		生看	公衆衛生看護管理論	4秋		1		1					
		護	公衆衛生看護学実習 I	4秋		2		1		1		1	
			公衆衛生看護学実習 Ⅱ	4秋		3		1		1		1	
		研究の	看護学研究法	3春	2				1				
		究成の	看護卒業研究	4通	2			9	2	2			
			小計(72科目)	_									
		合計	(101科目)	-									

卒業要件及び履修方法

- ・リベラルア一ツ(29科目):必修科目10単位、選択必修科目8単位、選択科目8単位以上 ※リベラルアーツで26単位以上履修 ・専門導入科目(2科目):選択必修科目1単位 ・専門基礎科目(19科目):必修科目29単位 ・専門科目(51科目):必修科目72単位 合計:必修科目11単位、選択必修科目9単位(リベラル8単位、専門導入1単位)、選択科目 8単位以上(リベラル)、合計128単位以上 ・保健師国家試験受験希望者は、卒業要件を満たし、専門基礎科目の環境と健康の科目群から「保健計学II」の1科目1単位、専門科目の公衆衛生看護の科目群から「公衆衛生看護支援論」「公衆衛生看護で動展開論」「公衆衛生看護管理論」「公衆衛生看護学実習 I」「公衛生看護学実習 I」「公衛生

				配	<u>i</u>	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
	科目区分		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	
				次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
		看	小児看護学概論	2秋	2			1		<u> </u>			
		小護 児の	小児看護援助論	3春	2			1		1			1
		看展護開	小児看護学実習 I	3秋~4春	1			1		2		3	
		836 1713	小児看護学実習 Ⅱ	3秋~4春	1			1		2		1	
		看護	母性看護学概論	2秋	2			1					1
		性の 看展 護開	母性看護援助論	3春	2			1		1			
			母性看護学実習	3秋~4春	2			1		1	1		1
		看護	精神看護学概論	2秋	2			1					
		神の 看展 護開	精神看護援助論	3春	2			1		2	1		
		額	精神看護学実習	3秋~4春	2					2	1		1
		看護	在宅看護学概論	2秋	2			1					
		宅の 看展 護関	在宅看護援助論	3春	2			1	1				
		在	在宅看護学実習	3秋~4春	2			1	1	1	1	1	
車			統合看護論	3春	2			1					
分			チーム医療論	3春	1			1	1				
門	専	看	医療安全論	2春	1			1					
教	門	護	看護管理論	3春	1			1					
	科目	の	看護教育論	4秋		1		1					
育	п	統合	家族看護論	2春	1				1				
科			救急看護	4秋		1							1
Ħ		看護	リハビリテーション看護	4秋		1					1		
н		o o	緩和ケア論	4秋		1		1					
		発展	災害看護活動論	3秋	1								1
		/	国際看護活動論	3春	1			1					
			僻地看護活動論	4秋	1					1			
			統合看護実習	3秋~4春	2			1	1	5	4	5	3
			公衆衛生看護学概論	3春		2		1	1				
		公衆	公衆衛生看護支援論	3春		2			2				
		衛	公衆衛生看護活動展開論	3春		2			1	1			
		生看	公衆衛生看護管理論	4秋		1		1					
		護	公衆衛生看護学実習 I	4秋		2		1	1	1		1	
			公衆衛生看護学実習Ⅱ	4秋		3		1	1	1		1	
		研究の	看護学研究法	3春	2				1				
		光の	看護卒業研究	4通	2			9	3	3	1		
			小計(72科目)	-									
		合計	(101科目)	-									

卒業要件及び履修方法

- ・リベラルア一ツ(29科目):必修科目10単位、選択必修科目8単位、選択科目8単位以上 ※リベラルアーツで26単位以上履修 ・専門導入科目(2科目):選択必修科目1単位 ・専門基礎科目(19科目):必修科目29単位 ・専門科目(51科目):必修科目72単位 ・専門科目(51科目):必修科目72単位 合計:必修科目111単位、選択必修科目9単位(リベラル8単位、専門導入1単位)、選択科目 8単位以上(リベラル)、合計128単位以上 ・保健師国家試験受験希望者は、卒業要件を満たし、専門基礎科目の環境と健康の科目群から「保健師国家試験受験希望者は、卒業要件を満たし、専門基礎科目の環境と健康の科目群から「公衆衛生看護学実習」「公衛生看護学実習」「公衛生看護学実習」「公衛生看護学実習」「公衛生看護学実習」「公衛生看護学実習」「公衛生看護学実習」「公衛生看護学実習」「公衛生 .ع:

【平成30年度】

			蹈	į	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
	科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准	講	助	助	
			次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
		宗教学	4秋	2								1
		キリスト教概論	1春	2								1
		地域文化論	1秋	2								1
	導 入	基礎演習	1春	1				2	5	4		
	教育	プレゼンテーション	1秋	1				2	5	4		
	Ħ	情報処理基礎	1春	1								2
		日本語リテラシー	1春	1								2
		日本語表現リテラシー	1秋		1							2
		英語 I	1春		1							1
	外	英語Ⅱ	1秋		1							1
	語	英語コミュニケーション	2春		1							1
	を学	英語 (TOEIC) I	2春		1							1
	ぶ	英語 (TOEIC) Ⅱ	2秋		1							1
リベ	領 域	ドイツ語	1春		1							1
ラ		ドイツ語コミュニケーション	1秋		1							1
アー	人	哲学	1・2春秋		2							1
リリツ	を学ぶっ	芸術論	1・2春秋		2							1
	を学ぶ領	デザイン論	1・2春秋		2							1
	領あり	心の科学	1・2春秋		2							1
	方	行動の科学	1・2春秋		2							1
	社	歴史学	1・2春秋		2							1
	会の	日本国憲法	1・2春秋		2							1
	あり	政治学	1・2春秋		2							1
	^璵 方	社会学	1・2春秋		2							1
	を 学	国際関係論	1・2春秋		2							1
	ぶ 領	海外事情	1・2春秋		2							1
	学自	自然科学概論	1・2春秋		2							1
	領を然域学と	数学	1・2春秋		2							1
	ぶ科	スポーツの科学	1・2春秋		2							3
		小計(29科目)	-									
車	科導専	看護教育のための生物基礎	1春		1		1					
門教	目入門	看護教育のための科学基礎	1春		1							1
育	人間	健康医療総論	1春	2			1					4
科目	と健	生命と倫理	1春	2			1					1
"	康	人間発達学	1春	2	1			1	1	1		1

	41 D			配当	Ĺ	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
	科目 区分		授業科目の名称	年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
				次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	担
			解剖生理学 I	1春	2								2
			解剖生理学 Ⅱ	1秋	2								2
		١.	病態学 I	2春	2			1					4
		人間	病態学Ⅱ	2春	2			1					3
		٤	病態学Ⅲ	2春	2			1					3
		健康	病態学Ⅳ	2秋	2			1					7
	専門	DK.	薬理学	2春	2								1
	基		栄養学	1秋	1								1
	礎		微生物学	1秋	1								1
	科目		社会福祉論	1秋	1								1
	_		公衆衛生学	2春	1								1
		環境	疫学	2秋	2								1
専		ځ	保健統計学 I	2春	1								1
4		健康	保健統計学Ⅱ	2秋		1							1
門		DK.	保健医療福祉行政論 I	3春	1								1
			保健医療福祉行政論Ⅱ	3春	1								1
教			看護学概論	1春	2			1					
育			日常生活援助論	1春	2				1	1			0
F		介	回復促進援助論	1秋	2				1	1			0
科		護の	看護過程論	2春	2				1				
1		基	ヘルスアセスメント	1秋	1				1				
目		本	看護倫理	2春	1			1					
			基礎看護学実習 I	1春	1			1	3	5	5	5	2
	_		基礎看護学実習Ⅱ	2秋	2			1	3	5	5	5	2
	専門	成	成人看護学概論	2春	2			1					
	科	人成看	成人看護援助論 I	2秋	2			1		1			
	目	人護	成人看護援助論Ⅱ	2秋	2			1		1			
		護展	成人看護学実習I	3秋~4春	3						3	1	3
		開	成人看護学実習Ⅱ	3枚~4春	3						3	1	3
		看	高齢者看護学概論	2春	2			1					
		自護の展	高齢者看護援助論	2秋	2			1	0	1	1		
		看開護・	高齢者看護学実習 I	3枚~4春	1				2	2	3	2	
		高	高齢者看護学実習Ⅱ	3枚~4春	3				1	2	1	1	

				配	<u>i</u>	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
	科目 区分		授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
				次	修	択	曲	授	授	師	教	手	担
		看護	小児看護学概論	2秋	2			1					
		の 看展	小児看護援助論	3春	2			1		1			1
		護開	小児看護学実習 I	3秋~4春	1			1		2		3	
		小児	小児看護学実習Ⅱ	3秋~4春	1			1		2		1	
		看護の	母性看護学概論	2秋	2			1					1
		看展展開	母性看護援助論	3春	2			1		1			
		負性	母性看護学実習	3秋~4春	2			1		1	1		0
		看接	精神看護学概論	2秋	2			1					
		の 看展 護開	精神看護援助論	3春	2			1		1	2		
		精神	精神看護学実習	3秋~4春	2					1	2		0
		看援の	在宅看護学概論	2秋	2			1					
		の 看展 護開	在宅看護援助論	3春	2			1	1				
		在宅	在宅看護学実習	3秋~4春	2			1	1	1	1	1	
			統合看護論	3春	2			1					
専			チーム医療論	3春	1			1	1				
門			医療安全論	2春	1			1					
1	専門	看	看護管理論	3春	1			1					
教	科	護の	看護教育論	4秋		1		1					
育	目	統	家族看護論	2春	1				1				
科		合・	救急看護	4秋		1							1
目		看護	リハビリテーション看護	4秋		1					1		
		の	緩和ケア論	4秋		1		1			-		
		発展	災害看護活動論	3#	1	Ė		Ė					2
			国際看護活動論	4秋	1			1					_
			僻地看護活動論	4秋	1			ľ		1			
			統合看護実習	3秋~4春	2			1	1	6	4	5	2
			公衆衛生看護学概論	3春		2		1	1	Ť	-	J	_
		公	公衆衛生看護支援論	3春		2		'	2				
		衆	公衆衛生看護活動展開論	3春		2			1	1			
		衛生	公衆衛生看護管理論					1		'			
		看護	公衆衛生看護官理調 公衆衛生看護学実習 I	3 *		1		1		1		,	
		改	公來衛生有護子美省 I 公衆衛生看護学実習 II	4秋		2		1	1	1		1	
		看		4秋	_	3		1	1	1		1	
		究護の	看護学研究法	3春	2				1				
	<u> </u>	研	看護卒業研究	4通	2			9	3	3	1		
<u> </u>		∧ =!	小計(72科目)	-									
\vdash		百計	(101科目)	— U6-mm² /u1	. T7 × 10	帰修-	Lille						

卒業要件及び履修方法

- ・リベラルアーツ(29科目):必修科目10単位、選択必修科目8単位、選択科目8単位以上 ※リベラルアーツで26単位以上履修 専門導入科目(2科目):選択必修科目1単位
- ·専門基礎科目(19科目):必修科目29単位 ·専門科目(51科目):必修科目72単位

- ・専門科目(51科目):必修科目72単位 合計:必修科目111単位、選択必修科目9単位(リベラル8単位、専門導入1単位)、選択科目 8単位以上(リベラル)。合計128単位以上 ・保健師国家試験受験希望者は、卒業要件を満たし、専門基礎科目の環境と健康の科目群 から「保統計学II」の1科目1単位、専門科目の公衆衛生看護の科目群から「公衆衛生看護学 概論」「公衆衛看護支援論」「公衆衛生看護活動展開論」「公衆衛生看護管理論」「公衆衛生 看護学実習 I」「公衛生看護学実習 II」の6科目12単位、単位数合計141単位以上を履修する こと。
- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を 黒字で記入してください。その上で、<u>認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**</u>としてください。
 - 履修希望者がいなかったために<u>未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入</u>してください。
 - 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

【平成28年度】

- 基礎演習:講師1名就任辞退のため、H28年度公募中。

- ・金旋浪音: 高師川-仏が江谷地区のため、1/20年度公募中。
 ・プレゼンテーション: 講師1名就任辞退のため、1/28年度公募中。
 ・英語 I: 2クラス実施予定であったが、履修者が少ないため1クラスで実施。
 ・スポーツの科学: 兼担担当者数を4名から3名へ変更。
 ・看護教育のための生物基礎: 兼担から専任教員へ変更。担当: 高橋正知(教授)、平成28年1月教員審査済 判定 可。
 ・看護教育のための科学基礎: 専任教員から兼担へ変更。

 ・香護教育のための科学基礎: 専任教員から兼担へ変更。

 ・香養教育が採売りまる。 サカザは おきなが また いきた

- ・高齢者看護援助論: 准教授1名就任辞退のため、H28年度公募中。 ・高齢者看護学実習 I:申請書類准教授3名で申請、1名誤植。准教授1名就任辞退のため、H28年度公募中。 ・高齢者看護学実習 I:申請書類准教授2名で申請、1名誤植。准教授1名就任辞退のため、H28年度公募中。 ・高齢者看護学実習 I:申請書類准教授2名で申請、1名誤植。准教授1名就任辞退のため、H28年度公募中。

【平成29年度】

- 【平成29年度】

 地域文化論:教育効果を考慮し、兼担担当者から兼任担当者へ変更。
 基礎演習:教員の新規採用。担当:西村美八(准教授)、平成29年1月教員審査済 判定可。講師1名就任辞退のため、教員の新規採用。担当:西村美八(准教授)、平成29年1月教員審査済 判定可。講師1名就任辞退のため、教員の新規採用。担当:西村美八(准教授)、平成29年1月教員審査済 判定可。講師1名就任辞退のため、教員の新規追加。担当:長南幸恵(講師)、平成29年4月教員審査申請中。
 ブレゼンテーション:教員の新規採用。担当:西村美八(准教授)、平成29年1月教員審査済 判定可。講師1名就任辞退のため、教員の新規追加。担当:長南幸恵(講師)、平成29年4月教員審査申請中。
 英語Ⅱ:2クラス実施予定であったが、履修者が少ないため1クラスで実施。
 日常生活援助論:専任教員ならびに兼担担当者2名で実施予定だったが、H28年度入学者69名のため、専任教員1名で実施。
 回復促進援助論:専任教員ならびに兼担担当者2名で実施予定だったが、H28年度入学者69名のため、専任教員1名で実施。
 基礎看護学実習Ⅰ:教員の新規採用。担当:西村美八(准教授)、平成29年1月教員審査済 判定可。講師1名就任辞退のため、教員の新規追加。担当:長南幸恵(講師)、平成29年4月教員審査申請中。
 基礎看護学実習Ⅰ:推教授1名担当科目追加。平成29年10月提出予定。 臨地実習の教員体制於実のため、教員の新規追加。担当:長南幸恵(講師)、平成29年4月教員審査申請中。
 高齢者看護学実習 I: 准教授1名担当科目追加。平成29年10月提出予定。 講師1名就任辞退のため、教員の新規追加。担当:長南幸恵(講師)、平成29年4月教員審査申請中。
 高齢者看護学製習Ⅰ:教授1名担当科目追加。平成29年10月提出予定。 講師1名就任辞退のため、教員の新規追加。担当:長南幸恵(講師)、平成29年4月教員審査申請中。
 国際看護活動論:教授1名担当科目追加。平成29年10月提出予定。 講師1名就任辞退のため、教員の新規追加。担当:長南幸恵(講師)、平成29年4月教員審査済 判定可。
 公衆衛生看護受援論:教員の新規採用。担当:西村美八(准教授)、平成29年1月教員審査済 判定可。
 公衆衛生看護予製屋1:教員の新規採用。担当:西村美八(准教授)、平成29年1月教員審査済 判定可。
 公衆衛生看護予集団 I:教員の新規採用。担当:西村美八(准教授)、平成29年1月教員審査済 判定可。
 公衆衛生看護予集団 I:教員の新規採用。担当:西村美八(准教授)、平成29年1月教員審査済 判定可。
 公衆衛生看護学実習Ⅰ:教員の新規採用。担当:西村美八(准教授)、平成29年1月教員審査済 判定可。
 公衆衛生看護学実習Ⅰ:教員の新規採用。担当:西村美八(准教授)、平成29年1月教員審査済 判定可。
 公衆衛生看護予業可 I:教員の新規採用。担当:西村美八(准教授)、平成29年1月教員審査済 判定可。
 公衆衛生看護で実習 I:教員の新規採用。担当:西村美八(准教授)、平成29年1月教員審査済 判定可。
 公衆衛生看護で実習 I:教員の新規採用。担当:西村美八(准教授)、平成29年1月教員審査済 判定可。
 公衆衛生看護で実習 I:教員の新規採用。担当:西村美八(准教授)、平成29年1月教員審査済 判定可。
 公衆衛生看護活動展開論:教員の新規採用。担当:西村美八(准教授)、平成29年1月教員審査済 判定可。
 公衆衛生看護活動展開論:教員の新規採用。担当:西村美八(准教授)、平成29年1月教員審査済 判定可。
 公衆衛生看護で実習 I:教員の新規採用。担当:西村美八(准教授)、平成29年1月教員審査済 判定可。
 公衆衛生経験の新規採用。担当:西村美人(推教授)、平成29年1月教員審査済 判定可。
 公衆衛生経験の第29年1月教員第29年1月教養者養養済 判定可。
 公衆衛生の第29年1月教育、主持の第29年1月教育、中国、2014年1月教育、2014年1日教育、2014年1月教育、

【平成30年度】

- 判定。 判定可。 **答 判定可。

【令和元年度】

```
・小沢准教授が、教授へ職位の変更ならびに担当科目の追加が認められたため、該当科目を「准教授」から「教授」へ変更。
・山野内講師が、准教授へ職位の変更ならびに担当科目の追加が認められたため、該当科目を「講師」から「准教授」へ変更。
・木村講師が、准教授へ職位の変更ならびに担当科目の追加が認められたため、該当科目を「講師」から「准教授」へ変更。
・坂本講師が、進教授へ職位の変更ならびに担当科目の追加が認められたため、該当科目を「講師」から「建教授」へ変更。
・三浦助教が、講師へ職位の変更ならびに担当科目の追加が認められたため、該当科目を「助教」から「講師」へ変更。
・三浦助教が、講師へ職位の変更ならびに担当科目の追加が認められたため、該当科目を「助教」から「講師」へ変更。
・市川助教が、講師へ職位の変更ならびに担当科目の追加が認められたため、該当科目を「助教」から「講師」へ変更。
・市川助教が、講師へ職位の変更ならびに担当科目の追加が認められたため、該当科目を「助教」から「講師」へ変更。
・坂本助教が、講師へ職位の変更ならびに担当科目の追加が認められたため、該当科目を「助教」から「講師」へ変更。
・久保助手が、助教へ職位の変更ならびに担当科目の追加が認められたため、該当科目を「助教」へ追加。
・教育効果を考慮し、「キリスト教概論」を1年次春学期から1年次秋学期へ変更。
・教育効果を考慮し、「基礎演習」「ブレゼンテーション」の専任教員等の配置を「教授 1」「准教授 4」「講師5」「助教 1」へ変更。
・教育効果を考慮し、「「機能 反議論」の兼担教員配置を「6」へ変更。
・教育効果を考慮し、「病態学 I」の兼任教員配置を「1」へ変更。
・教育効果を考慮し、「高齢者看護学実習 I」の兼任教員配置を「1」へ変更。
・教育効果を考慮し、「小児看護学実習 I」の事任教員配置を「1」へ変更。
・教育効果を考慮し、「小児看護学実習 I」の事任教員配置に「1」へ変更。
・教育効果を考慮し、「・別年日報」の事任教員配置に「1」へ変更。
```

- (注)・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、
 - 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

	設置時	の計画			変更状況			備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	1用行
66 科目	35 科目	0 科目	101 科目	66 科目 [0]	35 科目 [0]	0 科目 [0]	101 科目 [0]	変更なし

(注)・ <u>未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入</u>するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目滅の場合: Δ 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし			

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計	_	0	_	0 9
設置時の計画の授業科目数の計(A)	_	101	_	0 9

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分				内				容				備考
(1)		区	分		専	用	共	用		共用する他の 学校等の専用			計		
44		校舎	敷坩	b		14, 146 m ²			m²	7 12 3 97 371	m²		14,	146 m	î
校		運動場	易用地	ļ		15, 000 m²			mi		m²		15,	000 m	2
地		小	計			29, 146 m²			mi		mî		29,	146 m	1
tete		そ 0	り他	ļ		35, 484 m²			mi		m²		35,	484 m	2
等		合	計			64, 630 m ²			m ²		m ²		64,	630 m	ٲٛ
					専	用	共	用		共用する他の 学校等の専用			計		
					大	学専用	大学他学科	・短大との共	用	短大専用					高校との共用
										6, 621. 2	1 m ²				高校との共用 (7号館3・4階)710.94 m [*]
					:	2, 954. 98 m ²	1	1, 719. 78	m ²	5, 932. 6	3 m ²		40, 792	. 38 m	···· 八戸学院光星高等学校 収容定員:1,170名
(2) 校		쇨	Al I				高校	を共用		高校専用			38, 849	. 14 m	前 青森県の基準面積: 6,120㎡
										18, 785. 4	7 m ²				短大専用:八戸学院大
								710. 94	mi	17, 530. 8	1 m ²				学短期大学部校舎増築 (29)
						2, 954. 98		2, 430. 72		25, 406. 6					高校専用:八戸学院室 内練習場建設(29)
				_	(m [*])	(m²)	(23, 463. 44		<u> </u>	38, 849. 1		
(O) #5			<u> </u>	講	義 室 ————	演	習室	実験実	習室	情報処理等			語学学習		
(3) 教	至	三 等	₹		15	室	25 室		7 室	1		室	.+ rt. rt		大学全体
						车	3等の名称			(補助職員	L 4.A		補助職員 数	0人)	(八戸学院大学短期大学部と共用)
(4) 専	任教員	研究室	Ē			健康医療学		£:l		<u></u>		18	X.	室	申請書類教員研究室16室 - で申請。誤植のため18室 (28)
					図書	1	in 自設于 i雑誌	111				16			(20)
(5)		ひ ひ 学 部			ち外国書〕		外国書〕	電子ジャ	ーナル	視聴覚資料	抖	き械・器!	具 標	本	
(0)	0	の名称				m	種	〔うちタ			点		点	点	į
				6, 41	1 [237]	46	[13]	11 ([11]	13		4, 273		23	_
				6, 762	. (158)					418					図書について、H30年
図	健康	医療学	全部	-6, 7	77										度から除籍があり冊 数が減少。 (元)
書•		護学科		-5, 6	38										視聴覚資料については、短大看護学科廃
設備				-5, 2	12										止に伴い、大学へ移 行。 (元)
				(-5, 2	11 [157]) (46	[13])	(11 [[11])	(13)	(4, 273) (23)	
		計		6, 41	1 [237]	46	[13]	11 ([11]	13		4, 273		23	
		ы		(5, 2	12 [157]) (46	[13])	(11 ([11])	(13)	(4, 273) (23)	
					面	積		閲覧座	席数		収	納可	能 冊	数	大学全体
(6) 図	書	前	Ê						1	88 席					(八戸学院大学短期大学部と共用)
						1, 646	m ²		4	64 席			約195,	000 ₩	学生数増加に伴い、閲覧 座席数を追加(29)
(7) 体	育	前館	Ė		面	積				外のスポーツ					1
	1				<u>,. </u>	•	1	1		サッカー場、				D 4 .	
			Z	<u> </u>	分	開設年度	完成年月	度 区	分	開設前年度	Į	開設年度	完月		4
(C)	σ_{z}		教員 1	人当り	研究費等	300 千円	300 ∓ F	四 図書	購入費	810		500 千円	500	千円	m # o# 3 # !-
(8) 経費 <i>の</i>		§り 	. F	<i>τ</i> π -	加 	2 000 7 17	2 000 =	-n./++	雎 7 連	802 千	_	000 7	.п. 1 ^	00 7 11	図書購入費について、 新採用教員からの変更
積り及維持方	2び		- 1		2 費等	2,000 千円	<u> </u>		購入費	12,032 千					l 依頼があり、図書の充 - 実を図るため変更した (28)
の概		生生 1 / り 納付st			1 年次 590 千円	第2年次	_	3年次 320 千円	第4年)千円	第5年	千円	第6: ————————————————————————————————————	年火 - 千円	1
					590 十円 維持方法の		_	320 十円				十円	_	++	11
		一工 和	יון 亚.	メノトリノブ	ᄠᆁᆟᅜᅜ	ル女 丁奴科	つなハ、貝片	上进用权人、	于木収八	্য					

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、 その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	八	戸学	院大	学								備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所	在	地		
	年	人	年次	人		倍	年度	年度			年度		
ビジネス学部	4	-	_	_	学士 (ビジネス 学)	-	-	昭和56年度	青森県八万	戸市美伢	呆野13-98	平成30年よ	り募集停止
<u>地域経営学部</u> <u>地域経営学科</u>	4	80	-	320	学士 (地域経営学)	0. 85	平成30	平成30年度	青森県八万	戸市美伊	呆野13-98		
健康医療学部 人間健康学科	4	80	_	320	学士 (人間健康学)	1. 11	-	平成17年度	青森県八万	□市美侨	呆野13-98		
大学全体	4	160	-	640	_	0. 98	-	-		_			
大学の名称	八	戸学	院大	学 短	期大	学						備	考
既設学部等の名称	修業年限	入学 定員	編入学定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所	在	地		
	年	人	年次 人	人		倍							
幼児保育学科	2	100	-	200	短期大学士 (幼児保育 学)	0. 97	_	昭和46年度	青森県八戸	市美保	野13-384		
<u>介護福祉学科</u>	2	40	_	80	短期大学士 (介護福祉学)	0. 22	_	令和元年度	青森県八戸	市美保	野13-384		
大学全体	2	140	-	280	-	0. 59	_	_		_			

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び 高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。 (専攻科及び別科を除く)。
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・<u>本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください</u>。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を 記入してください。

5 教員組織の状況

<健康医療学部 看護学科>

(1)一① 担当教員表

		担当教員表 は届出時】	7 107 5	戊28:	左座1		7 107 -	戈 29:	左曲1		7 107 =	t30:	± # 1		7 🗸 £		±1
専任・ 兼担・] 时又	氏名	専任・兼担・	, Z 8 -	氏 名		東任・ 兼担・	, 29	压 名	1	東任・ 兼担・	, 3 0	氏名	3	【ヤれ 専任・ 兼担・	1元年	氏 名
兼任の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月>	兼任の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	3	表担・ 兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		兼任 の別	職名	(年 齢) <就任 (予定)年月> 保有学位等	3	兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月>
		保有学位等 担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名	11			担当授業科目名				保有学位等 担当授業科目名
		蛭田 由美	-		蛭田 由美	F			蛭田 由美	H			蛭田 由美	F	-		蛭田 由美
		(67) <平成28年4月>			(67) <平成28年4月>				(68) <平成28年4月>				(69) <平成28年4月>		ļ		(70) <平成28年4月>
	教授	博士 (臨床教育学) 健康医療総論 看護学概論		教授	博士 (臨床教育学) 健康医療総論 看護学概論			粉垣	博士 (臨床教育学) 健康医療総論 看護学概論	1		教授	博士 (臨床教育学) 健康医療総論 看護学概論		ļ	粉塔	博士 (臨床教育学) 健康医療総論 看護学概論
専	(学科 長)	有級子似網 統合看護論 看護卒業研究	専	9X 1X (学科 長)	有該子似調 統合看護論 看護卒業研究		専		有護子城間 統合看護論 看護卒業研究		専	(学科 長)	有該子似網 統合看護論 看護卒業研究		専		有践子城间 統合看護論 看護卒業研究
		医療安全論看護管理論			医療安全論 看護管理論				医療安全論看護管理論				医療安全論看護管理論				医療安全論 看護管理論
									看護教育論 国際者護活動論				者機教育論 国際者親活動論		ļ		者機依有論 国際者譲活動論
		高橋 正知 (66)			高橋 正知 (66)	Ī			高橋 正知 (67)				高橋 正知 (68)				高橋 正知 (69)
		<平成28年4月> 博士(医学)			<平成28年4月> 博士 (医学)				<平成28年4月> 博士(医学)				<平成28年4月> 博士(医学)		ļ		<平成28年4月> 博士(医学)
専	教授	看護教育のための科学基礎 生命と倫理	専	教授	看護教育のための生物基礎 生命と倫理		専	教授	潜襲教育のための生物基礎 生命と倫理		専	教授	看護教育のための生物基礎 生命と倫理		専	教授	看護教育のための生物基礎 生命と倫理
		病態学 I 病態学 Ⅲ 病態学Ⅲ			病態学 I 病態学 II 病態学Ⅲ				病態学 I 病態学 I 病態学 II				病態学 I 病態学 Ⅲ 病態学Ⅲ				病態学 I 病態学Ⅱ 病態学Ⅲ
		病恋子皿 病態学IV チーム医療論			病態学IV チーム医療論				病態学IV チーム医療論				病態学IV チーム医療論				病態学II 病態学IV チーム医療論
		テーム区が調 看護卒業研究 木村 紀美			テーム区が調 看護卒業研究 木村 紀美	L			テーム区水油 看護卒業研究 木村 紀美	4 1			テーム医療調 看護卒業研究 木村 紀美	L			オーム医療調 看護卒業研究 木村 紀美
		(75) <平成28年4月>			(75) <平成28年4月>				(76) 〈平成28年4月〉				(77) <平成28年4月>		ļ		(78) <平成28年4月>
専	教授	修士 (文学) 成人看護学概論	専	教授	修士 (文学) 成人看護学概論		専	教授	修士 (文学) 成人看護学概論	11	専	教授	修士 (文学) 成人看護学概論		専	教授	修士 (文学) 成人看護学概論
		成人看護援助論 I 成人看護援助論 I			成人看護援助論 I 成人看護援助論 II				成人看護援助論 I 成人看護援助論 II				成人看護援助論 I 成人看護援助論 Ⅱ				成人看護援助論 I 成人看護援助論 II
		緩和ケア論 看護卒業研究			緩和ケア論 看護卒業研究	L			緩和ケア論 看護卒業研究				緩和ケア論 看護卒業研究				緩和ケア論 看護卒業研究
		山本 春江 (67) <平成30年4月>			山本 春江 (67) <平成30年4月>				山本 春江 (68) <平成30年4月>				山本 春江 (69) <平成30年4月>				山本 春江 (70) <平成30年4月>
専	## 123	< 平成30年4月 > 修士 (看護学) 公衆衛生看護学概論	専	教授	< 平成30年4月> 修士 (看護学) 公衆衛生看護学概論		毐	粉堆	< 平成30年4月> 修士 (看護学) 公衆衛生看護学概論		専	粉坪	< 平成30年4月 > 修士 (看護学) 公衆衛生看護学概論		車	数据	< 平成30年4月> 修士 (看護学) 公衆衛生看護学概論
4	#X1X	公來衛生看護子似調 公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護学実習 I	7	#X1X	公來衛生看護学城網 公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護学実習 I		₹	#X1X	公來衛生有護子城總 公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護学実習 I		7	#X1X	公來衛生看護子城調 公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護学実習 I		7	#X1X	公來衛生有護子帳網 公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護学実習 I
		公衆衛生看護学実習 II 看護卒業研究			公東衛生看護学実習 II 看護卒業研究				公衆衛生看護学実習 Ⅱ 看護卒業研究				公衆衛生看護学実習 I 看護卒業研究				公衆衛生看護学実習 II 看護卒業研究
		羽入 雪子 (57)			羽入 雪子 (57)	ľ			羽入 雪子 (58)	1 1			高橋 電子 (59)	ľ			高橋 電子 (60)
		<平成28年4月> 修士(教育学)			<平成28年4月> 修士(教育学)				<平成28年4月> 修士(教育学)				<平成28年4月> 修士(教育学)		ļ		<平成28年4月> 修士(教育学)
専	教授	母性看護学概論 母性看護援助論	専	教授	母性看護学概論 母性看護援助論		専	教授	母性看護援助論		専	教授	母性看護学概論 母性看護援助論		専	教授	母性看護学概論 母性看護援助論
		母性看護学実習 基礎看護学実習 I			母性看護学実習 基礎看護学実習 I				母性看護学実習 基礎看護学実習 I				母性看護学実習 基礎看護学実習 I		ļ		母性看護学実習 基礎看護学実習 I
		基礎看護学実習Ⅱ 看護卒業研究			基礎看護学実習Ⅱ 看護卒業研究	L			基礎看護学実習Ⅱ 看護卒業研究				基礎看護学実習Ⅱ 看護卒業研究				基礎看護学実習Ⅱ 看護卒業研究
		神郡 博 (82) <平成29年4月>			神郡 博 (82) <平成28年4月>				神郡 博 (83) <平成28年4月>				神郡 博 (84) <平成28年4月>				神郡 博 (85) <平成28年4月>
専	教授	トロス23年4月ン 修士(心身健康科学) 精神看護学概論	専	教授	ペースとのキャラン 修士(心身健康科学) 精神看護学概論		専	教授	(本)	4 1	専	教授	トー版20年4月ン 修士(心身健康科学) 精神看護学概論		専	教授	を士(心身健康科学) 精神看護学概論
		精神看護援助論看護卒業研究			精神看護援助論 看護卒業研究				精神看護援助論看護卒業研究				精神看護援助論看護卒業研究		ļ		精神看護援助論 看護卒業研究
		矢野 章永 (72)			矢野 章永 (72)	Ī			矢野 章永 (72)				矢野 章永 (72)				矢野 章永 (73)
		<平成29年4月> 修士(看護学)			<平成29年4月> 修士(看護学)				<平成29年4月> 修士(看護学)				<平成29年4月> 修士(看護学)				<平成29年4月> 修士(看護学)
専	教授	在宅看護授助論	専	教授	在宅看護学概論在宅看護援助論		専	教授	在宅看護学概論 在宅看護援助論		専	教授	在宅看護授助論		専	教授	在宅看護援助論
		在宅看護学実習 看護倫理			在宅看護学実習 看護倫理 看護卒業研究				在宅看護学実習 看護倫理 看護卒業研究				在宅看護学実習看護倫理				在宅看護学実習 看護倫理
		看護卒業研究 田中 克枝 (54)			看護卒業研究 田中 克枝 (54)	ŀ			看護卒業研究 田中 克枝 (54)	1			看護卒業研究 田中 克枝 (55)	ŀ	\dashv		田中 克枝 (56)
		<平成29年4月>			(54) <平成29年4月> 修士 (看護学)				(54) <平成29年4月> 修士(看護学)				<平成29年4月> 終末(香蕉学)				(56) <平成29年4月> 修士(看護学)
専	教授	修工(有談子) 小児看護学概論 小児看護援助論	専	教授	小児看護学概論 小児看護援助論		専	教授	小児看護学概論 小児看護援助論	1	専	教授	小児看護学概論 小児看護援助論		専		小児看護学概論 小児看護援助論
		小児看護学実習 I 小児看護学実習 II			小児看護学実習 I 小児看護学実習 II				小児看護学実習 I 小児看護学実習 II				小児看護学実習 I 小児看護学実習 II				小児看護学実習 I 小児看護学実習 II
		統合看護実習 看護卒業研究			統合看護実習 看護卒業研究	L			統合看護実習 看護卒業研究				統合看護実習 看護卒業研究	L			統合看護実習 看護卒業研究
		辻村 史子 (73)			辻村 史子 (73) <平成29年4月>				辻村 史子 (74)				辻村 史子 (74) <平成29年4月>				辻村 史子 (74) <平成29年4月>
専	教授	<平成29年4月> 修士(教育学) 高齢者看護学概論	専	教授	< 平成29年4月 > 修士(教育学) 高齢者看護学概論		専	教授	<平成29年4月> 修士(教育学) 高齢者看護学概論	4	専	教授	< 平成29年4月 > 修士(教育学) 高齢者看護学振論		専	教授	< 平成29年4月> 修士(教育学) 高齢者看護学概論
		高齢者看護援助論 看護卒業研究			向都有有該子似調 高齢者看護援助論 看護卒業研究				高齢者看護援助論 看護卒業研究				高齢者看護援助論 看護卒業研究				同即有有 設子似調 高齢者看護援助論 看護卒業研究
		加賀谷 紀子				ľ			T PRIVING	1				t	\neg		
専	准教授	<平成28年4月> 修士(人間科学)															
#	准蚁授	高齢者看護援助論 高齢者看護学実習 I															
		高齢者看護学実習 Ⅱ 看護卒業研究				L											-
		壬生 寿子 (63)			壬生 寿子 (63)	ſ			壬生 寿子 (64)				壬生 寿子 (65)		Ţ		壬生 寿子 (65)
		<平成28年4月> 修士(看護学) 在宅看護援助論			<平成28年4月> 修士 (看護学) 左宅要護援助論				<平成28年4月> 修士(看護学) 在空景譜場助論				<平成28年4月> 修士(看護学) 在宅看護援助論				<平成28年4月> 修士(看護学) 在宅看護援助論
		在宅看護接切編 在宅看護実習 家族看護論 小泰衛生看護支援論			在宅看護援助論 在宅看護実習 家族看護論 小泰衛生委擁支經論				在宅看護援助論 在宅看護実習 家族看護論				在空看链宝翌				住宅有護接助誦 在宅看護実習 家族看護論 基礎看練学宝翌『
専	准教授	水族有談網 公衆衛生看護支援論 基礎看護学実習 I	専	准教授	※ 灰有 設調 公衆衛生看護支援論 基礎看護学実習 I		専	准教授	家族看護論 公衆衛生看護支援論 基礎看護学実習 I		専	准教授	家族看護論 公衆衛生看護支援論 基礎看護学実習 I		専	准教授	水族有談網 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 Ⅱ
		基礎看護学実習 II 看護卒業研究			基礎看護学実習 Ⅱ 看護卒業研究				基礎看護学実習 II 看護卒業研究				基礎看護学実習 I 看護卒業研究				看護卒業研究 チーム医療論
					チーム医療論				テーム医療論 高齢者者競学実習 I				テーム医療論 高齢者看護学実習 I				高齢者者提学実習I 高齢者者提学実習I
Ш			<u> </u>			L			高計者看護学実習Ⅱ	J			高齢者看護学実習Ⅱ	L			

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>	兼兼	任・ 担・ 任 別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月>	Ŗ Ŗ	専任・ 検担・ 検任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
37,71	100 11	保有学位等 担当授業科目名	03,33	100 11	保有学位等 担当授業科目名	37,71		保有学位等 担当授業科目名		,,,	100 11	保有学位等 		<i>3</i> ,,	100 11	保有学位等 担当授業科目名
		小沢 久美子 (37) <平成28年4月> 博士(保健学)			ル沢 久美子 (38) <平成28年4月> 博士(保健学)			小沢 久美子 (39) <平成28年4月> 博士 (保健学)				小沢 久美子 (40) <平成28年4月> 博士 (保健学)	۰			ル沢 久美子 (41) <平成28年4月> 博士(保健学)
専	准教授	日常生活物施 同様と選手を 可様の選手を の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	専	准教授	日常生活動物 自常生活動物 情報の表現 を受ける。 を受ける。 のでは、 のでは	專	准教授	日常生活援助施 回復促進援助施 有護過程が 人へ成了セスメント 基礎者を実施 基礎者を実施 動給者看護実等 電影 動給合着選手 電子 基礎が 基礎が 基礎が 基礎が 基礎が 基礎が 基礎が 基礎が 基礎が 基礎が		専	准教授	日常生活動物 自常生活動物 有性促進性 動物 有性化 動物 力能 力能 力能 力能 力能 力能 力能 力能 力能 力能		専		要調学基 日常生活技助論 日同復名法技助論 看接過名以ようと 日の復名法技助論 有接過名以ようと 日本のよう 日本のま 日本のま 日本のま 日本のま 日本のま 日本のま 日本のま 日本のま
						*	准装领	公宗衛生有限デ共吉 1 公衆衛生有限デ共吉 I 基礎者限学実吉 I 基礎者限学実音 I 基礎者限学実音 I ブレゼンテーション 者版本業研究		*	准敬授	公宗衛生有限子共言 1 公宗衛生者開学実言 I 基礎者標学実言 I 基礎者標学実習 I 基礎 ブレゼンテーション 者関本条研究		*	准章授	面付 換八 (本) (平成29年10月) 海土 (原甲) 公東報至書屋東縣 公東報至書屋支援論 公東報至書屋支援論 公東報至書屋李奏曹 I 基礎書世李奏曹 I 基礎書世李奏曹 I 基礎書世李奏曹 I 基礎書世李奏曹 I 基礎書世李奏曹 I 基礎書世李奏 I
専	護師	田名節 余野 (50) (50) (50) (多士(健康科学) (修士(健康科学) (公衆衛生者経活動展開論 公衆衛生者経学実習 I 公衆衛者通経習 (最高級智 ((是高級母 ((是 () () () () () () () () () () ()	専	講師	田名節の (会野 (会)	専	講師	田名館 麻野 (51) 《平成28年4月~ 修工(健康科学) 《東北 世議末等 公衆衛生者程度動展開論 公衆衛生者程度動展開論 公衆衛生者程度事業習 I 公衆衛生者経済官 報信英字 基礎者近天智 基礎者接近字 東 I 基礎者が 近ア テ ア フ コ ン マ フ コ ン マ マ ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア		専	講師	田名(2) 日名(2) 日名(2) 日名(2) 日本(2) 「本年(2) 日本(2) 日本(専	講師	田名節3 (55) (53) (53) (53) (53) (53) (45) (45) (45) (45) (45) (45) (45) (45
専	譜館	山野内 焼子 (5)) (5)) (キエ (0)身健康科学) 小児看護伊実習 I 小児看護伊実習 I 小児看護伊実習 I 成人看護建制論 I 基基礎看護期 第 I 基基礎看護署	専	講師		專	講師	山野内 靖子 (52) (平成28年4月> ・ (下成28年4月> ・ (中成28年4月> ・ 小児看護学美富! ・ 小児看護学美富! ・ 成人看護学美富! ・ 成人看護学美富! ・ 成人看護学美富! ・ 基基総看護学美富! ・ 基基総看意美美富! ・ 本語 (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)		專	講師	山野内 牌子 (平成28年4月) 停工 (心身健康科学) 小児看護師実習 I 小児看護師実習 I 小児看護師実際習 I が成人看護師実際習 I 基基会看護習 I ブレゼラーション 電源享要の リハピリテーション 電源を登り リハピリテーション 電源を登り リハピリテーション 電源を登り リハピリテーション 電源を登り リハピリテーション 電源を登り リハピリテーション 電源を登り リハピリテーション 電源を登り リハピリテーション 電源を発展と リハピリテーション 電源を発展と リハピリテーション 電源を発展と リハピリテーション 電源を発展と リハピリテーション ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		車		山野内 類子 (株子) (本年 (小身健 (大手) (大手) (大手) (小男性 (大手) (小男性 (大手) (小男性 (大手) (大手) (大手) (大手) (大手) (大手) (大手) (大手)
専	講師	集名 きえ (成228年4月> (成28年4月> (株主) (教育学) 精神者護廷財節 精神者護廷財節 精神者護廷財節 精神者護廷署 ボンザーション 者護卒業所党														,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
専	護衛師	下川原 久子 (61) (平成28年4月> 修士(名護学) 成人看護授助論Ⅱ 基礎演習 ブレゼンテーション	專	講師	下川原 久子 (61) 《平成28年4月》 修士 (署護学) 成人署護程助論 II 基礎演習 ブレゼンテーション	専	講師	下川原 久子 (マルス) (マル		専	講師	下川原 久子 (63) (63) (平成294月> 修士 (第国学) 成人看護任助盟 基礎演習 丁一大学 (第四学) 日常生活漫動論 国復企業の助論 基礎者理学業習 I 基礎者理学業習 I 基礎者理学業習 I 基礎者理学業 I				
専	講師	本村 線 (46) 「中成28年月> 精神電話発生実習 I 高齢者者経生実習 I 高齢者者経生実習 I 統合者線署 プレゼンテーション	専	講師	末村 韓 (46) (46) (46) (46) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47	專	講師	本村 株 (47) (平成20年4月> 精神常護展功論 精神常護保予護日 高齢者有護子実習 I 高齢者有護子実習 I 統合有護子 選送保護 プレゼンテーション		専	講師	本村 録 (48) (48) (平成20年4月) 精神君孫廷弘論 精神者孫子史字書 『 議合者後子史字書 『 議合者後漢智 ブレゼンテーション考賞 リハゼリテーション考賞		專		本村 録 (449) (480) (481) (481) (482) (483)
專	高興伯币	版本 保子 (54) (54) 《年戊28年4月》 修士(児童学) 母性看護師美智 為性看護夫智 I 基礎看護夫妻智 I 基礎看護夫妻智 I 小児看護夫妻智 I 小児看護夫妻智 I 杭合看護夫智	專	講師	版本 保子 (64) 《听龙28年4月》 修士 (兜童学) 母性看在技功論 母性看在技功論 母性看在美字宫 基礎看起字実習 I 基礎看起字実習 I 小児看程字実習 I 小児看程字実習 I 秋合看護実習	専	講師	版本 保子 (55) 《平成20年4月》 修士 (兒童宇) 母性看護理学書 商 基礎看護字美寶 I 基礎看護字美寶 I 本學等 E 以見看護字美寶 I 小児看護字美寶 I 小児看護字美寶 I 秋春春寶美書		専	講師	版本 保子 (56) (56) (第十年) (1年) (1年) (1年) (1年) (1年) (1年) (1年) (1		専		版本 保子 (第7) (第7) (第1) (第2) (第4) (第7) (第7) (第7) (第7) (第7) (第7) (第7) (第7
						*	鉄師	大橋 理憲 (40) 《平成30年4月》 修士 (智麗学) 高前者者服児功能 高前者者服學夫妻 I 高前者者服學夫妻 I 高前者者服學夫妻 I 基礎者服學夫妻 I 基礎者服學夫妻 I 基礎者服學妻 T 基礎者服學妻 T ブレゼンテーション 習数千余別署		*	動物	大橋 理恵 (40) 《平成30年4月》 ※主 (報酬等) 高節者習服務助論 高節者習服務助論 高節者習服務助論 高節者習服等実習 I 基礎習慣等実習 I 基礎習慣等実習 I 基礎習慣等実習 I 基礎習慣等実習 I 単位子デーション 習慣不無影響				······································

専任・	Ī		専任・		1	専	α. Ι			専任	. 1			専	r . I		
兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼	担・ 任	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼担 兼任 の別		战名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼	Ē∙ Ē	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名
専	助教	三浦 広美 (43) (43) (43) (47) (42) (44) (45) (47) (47) (47) (47) (48) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47	專	助教	高齢者看護学実習 I 統合看護実習 基礎演習 ブレゼンテーション		専	助教	三浦 広奏 (44) (47年度20年4月ン デージの東学) 精神智雄(学美智) 精神智雄(学美智) 精神智雄(学美智) 精治者指揮(美麗) 新た者指揮(美麗) 記憶漢智 プレゼンテーション	專	į. B		三浦 広美 (45) (45) (45) (47) (48) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (48) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47) (47	÷	專		三浦 広美 (46) (46) (46) (46) (47成28年4月> (47成28年9月 (4708年9月 (470
専	助教	岩線 英保子 (52) 《年成28年4月》 修士 (字時) 高齢者者哲学実習 I 高齢者者哲学実習 I 基礎者哲学実習 I 基礎者哲学実習 I 基礎者哲学実習 I 基礎者類が実際 I 基礎者類が実際 I 基礎者類が表現しています。	専	助教	岩線 美保子 (芸) (学年) (学年) (学年) (学年) 高齢者看提学実習 I 高齢者看提学実習 I 基礎看提学実習 I 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 I 基礎看護習 ブレゼンテーション		専	助教	(明	***	Į į	力教	(切り 美条子 (5) 《平成28年4月> 参土 (平前) 高齢者看護学来習 I 高齢者看護学来習 I 基礎者哲学来習 I 基礎者哲学来習 I 基礎者哲学来習 I 基礎者哲学来習 I 基礎者哲学来習 I 基礎者哲学来習 I		專		「切り 美保子 (5) (マ 平成28年4月) ※ 本 平成28年4月) ※ 本 で で で で で で で で で で で で で で で で で で
専	助教	佐藤 真由美 (44) 《平成28年4月》 專門学校 成人看提字美習 I 成是獨接字美習 I 基礎看提字美習 I 統體看接字美習 I 統體看接字美習 I 統體看著美習	専	助教	佐藤 真由美 (44) 《平成28年4月》 学士 (人間学) 成人者護学美習 I 成人者護学美習 I 基礎看護学美習 I 基礎看護学美習 I 基礎看護夫書 I 統合者護美習		専	助教	佐藤 真由美 (45) 《甲尼28年4月》 学士 (人間学) 成人看護字美習 I 成人看護字美習 I 基礎者護字美習 I 基礎者護字妻習 I 載禮者護字妻習 I 載禮者護字妻習 I 載禮者護夫妻	専	Į. B		佐藤 真由美 (46) 《平成28年4月》 学士 (人間学) 成人看護学美習 I 成人看護学美習 I 基礎者護学美習 I 基礎者護学美習 I 基礎者護夫婆習 I 統合者護美習		· ·		佐藤 真由美 (47) 《平成28年4月》 《平成(人们) 《平成(人们) 《李武(人们)
専	助教	市川 裕美子 (58) 〈平成28年4月〉 学士(人間科学) 成人看接字美習 I 成人看接字美習 I 基礎看接字美習 I 基礎看接字美習 I 基礎報度字表 ジレゼンテーション	専	助教	市川 裕美子 (58) 《平成20年4月》 学士 (人間科学) 成人看護学業習 I 基礎看護学業習 I 基礎看護学業習 I 基礎連算 プレゼンテーション		専	助教	市川 裕美子 (59) 〈平成20年4月> 修士(希護学) 成人希護学来書 I 成人希護学来書 I 基礎希護学業書 I 基礎希護学業書 I 基礎希護学妻書 I 基礎希望学妻書 I 基礎海響 プレゼンテーション	專	I B	力教	市川 裕美子 (66) (66) (中成28年4月) 修士 (希護学) 成人者護学美習 I 基礎管理学美習 I 基礎管理学美習 I 基礎管理学美習 I 基礎管理学美習 I 基礎とログラーション リハビリテーション リハビリテーション	:	事		市川 裕美子 (6) 7 (6) 7 (6) 7 (6) 7 (7) 7 (7) 7 (8)
專	助教	版本 弘子 (55) 《中元26年4月> 徐士 (人間特字) 成人看接字美習 I 成人看接字美習 I 基础看接字美習 I 基础看接字美習 I 基础看接字美習 I 基础看接字美習 I 基础看接字美習 I 成合看接字美習 I	專	助教	坂本 弘子 (55) (56)		専	助教	版本 弘子 (156) (中成20年4月> 修士(人間科学) 成人看版学家目 成人者版学家目 基礎者版学家目 基礎者版学家習 I 基礎者版学家習 I 基礎者版学家習 I 基礎者版学家習 I 基礎者版学家習 I 基礎者版学家習 I	專	Į B	力教	版本 弘子 (57) 《平成28年4月》 卷士 (人間時中) 成人者隨字美冒 成人者隨字美冒 基礎者體字美冒 I 基礎者體字美冒 I 基礎養體字美冒 I 基礎養體字美冒 I 蘇合者隨美寶				(58) (58) (58) (58) (4年度28年4月) (4年上(人間科学) (成人者哲学天著日 (成人者哲学天著日 (成人者哲学天著日 (成人者哲学天著日 (成人者哲学天著日 (成人者哲学天著日 (成人者哲学天著日 (成人者哲学天著日 (成人者哲学表書) (成人者哲学表書) (成人者世界新聞 「成人者世界新聞 「成人者世界新聞 「はんずサーション フレゼンテーション フリゼンテーション フリゼンテーション
専	助教	藤邉 祐子 (40) <平成28年4月> 修士 (看護学) 母性看護学実習	専	助教	藤邊 祐子 (40) <平成28年4月> 修士(看護学) 母性看護学実習		専	助教	藤邊 祐子 (41) 《平成28年4月》 修士(智護学) 母性看護学実習	専	i B	力教	藤邉 祐子 (42) 《平成28年4月》 修士(看護学) 母性看護学実習		專	助教	藤邊 祐子 (43) 〈平成28年4月〉 修士(看護学) 母性看護学実習
		70.00.7.20					*		及所 中高 (48) (48) (中元29年6月) 修士 (李龍学) 朝神智龍原助論 朝神智龍伊美智 統合者龍美智 基建波智 ブレゼンテーション 智鑑本集研究 基維者龍伊美智 I 基維者龍伊美智 I 基維者龍伊美智 I 基維者龍伊美智 I	•	L 18	t#k	長所 申室 (48) (48) (47,20年4月) 金土 (管護学) 精神智量振動論 精神者重要養富 ボレセンテーション 著稿本名等会 高雄者重学実習 I 高雄者重学実習 I 高雄者重学実習 I 高雄者重学実習 I				
										*	r "g	h il k	久様 童子 (42) 《平成31年4月》 修士 (學術)			助歓	久様 室子 (42) 《平成31年4月》 #土 (学術) 日常生活要助論 国債保証助論 基礎哲学失管 I 基礎哲学失管 I 基礎指学失管 I 基礎指示 (サール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
										*	. 10	h ##k	松岡 智子 (52) <平成31年4月> 修士 (常観学)		•	助教	松岡 智子 (52) 《平成31年4月》 徐士(看觀學) 日常生活種助論 國復促進援助論 基礎看觀學與習 I
										*	. 10	h#k	・ 中尾 章 (46) <平成31年4月> 短期大学士			助教	◆風 単 (46) 《平成31年4月》 短期大学士 成人者童学変響 I 基礎考賞学変響 I 基礎考賞学変響 I
兼担	教授	吉田 稔 (69) 〈平成28年4月〉 博士 (医学) 解剖生理学 I 松美衛生学	兼担	教授	吉田 稔 (69) 《平成28年4月> 博士 (医学) 解剖生理字 I 紫熱生理字 I 公衆衛生学	Ŗ	・担	教授	吉田 稔 (70) < 平成28年4月> 博士(医学) 解剖生理学 I 粉創生理学 I 粉創生理学 E 参樂衛生学 俊学	兼	担勢		吉田 稔 (71) 《平成28年4月》 博士(医学) 解剖生理学 I 公衆衛生学	#	担		吉田 稔 (72) 《平成28年4月》 博士 (医学) 解剖生理学 I 紹介 (20) 解剖生理学 I 公衆衛生学

専任・ 兼担・		氏 名	専任・ 兼担・		氏 名	専任・ 兼担・		氏 名		専任・ 検担・		氏 名	専任・ 兼担・	Г	氏 名
兼任の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼任の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼任の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	9	版任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼任の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名 遠藤 守人			担当授業科目名 遠藤 守人	<u> </u>		担当授業科目名 遠藤 守人				担当授業科目名 遠藤 守人			担当授業科目名 藻藤 守人
兼担	教授	(57) 《平成28年4月> 博士 (医学) 健康医療総論 病態学 I 病態学 I 病態学 I 病態学 I 疾態 失機統計学 I	兼担	教授	(57) 《平成28年4月》 博士(医学) 博士(医学) 健康医療総論 病態学 I 病態学 I 病態学 I 病態学 I 病態学 I 病態学 I 疾態学 I 疾態学 I 疾態学 I 疾態学 I 疾態学 I 疾態学 I 疾態学 I 疾態学 I 疾態学 I 疾態 R	兼担	教授	(58) 〈平成26年4月〉 博士 (医学) 健康医療総論 病態学 I 病態学 I 病態学 I 病態学 I 病態学 I 疾能学 I 疾能 I 疾性 I		兼担	教授	(59) 《平成28年4月》 博士 (医学) 健康医療総論 病態学 I 病態学 I 病態 子 I	兼担	教授	(60) 《平成28年4月》 博士 (医学) 健康医療総論 病態学 I 病態学 I 病態学 I 病態学 I 病態学 I 病態学 I 病態学 I 病態学 I
兼担	教授	小澤 昭夫 (65) <平成28年4月> 修士(文学) ドイツ語コミュニケーション	兼担	教授	小澤 昭夫 (65) <平成28年4月> 修士(文学) ドイツ語 ドイツ語コミュニケーション	兼担	教授	小澤 昭夫 (66)<平成28年4月>修士(文学)ドイツ語ドイツ語コミュニケーション		兼担	教授	小澤 昭夫 (67) <平成28年4月> 修士(文学) ドイツ語 ドイツ語コミュニケーション	兼担	教授	小澤 昭夫 (68) 〈平成28年4月〉 修士 (文学) ドイツ語 ドイツ語コミュニケーション
兼担	教授	小林 喜輝 (69) 〈平成28年4月〉 学士(教育学) 日本語リテラシー 日本語表現リテラシー	兼担	教授	小林 喜輝 (69) 〈平成28年4月〉 学士(教育学) 日本語リテラシー 日本語表現リテラシー	兼担	教授	小林 喜輝 (770) (平成28年4月> 学士 (教育学) 日本語リテラシー 日本語表現リテラシー		兼担	教授	小林 喜輝 (71) 〈平成28年4月〉 学士 (教育学) 日本語リテラシー 日本語表現リテラシー	兼担	教授	小林 喜輝 (72) 〈平成28年4月〉 学士(教育学) 日本語リテラシー 日本語表現リテラシー
兼担	教授	湘澤 透 (49)〈平成28年4月〉 博士(医学)	兼担	教授	瀧澤 透 (49) <平成28年4月> 博士 (医学)	兼担	教授	瀧澤 透 (50) <平成28年4月> 博士(医学)		兼担	教授	瀬澤 透 (51) <平成28年4月> 博士 (医学)	兼担	教授	瀧澤 透 (52) <平成28年4月> 博士(医学)
兼担	教授	人間発達学 木糠 耕一郎 (46) 〈平成28年4月〉 宗教学 キリスト教概論 地域文化論 智学 生める	兼担	教授	人間発達学 木錬 耕一郎 (46) 〈平成28年4月〉 宗教学 キリスト教 概論 哲学 生命と倫理	兼担	教授	人間発達学	-	兼担	教授	人間発達学			人間発達学
兼担	教授	熊谷 晶子 (68) 〈平成28年4月〉 博士(農学) 自然科学概論 看護教育のための生物基礎 栄養学	兼担	教授	熊谷 晶子 (68) 〈平成28年4月〉 博士 (農学) 自然科学報論 予盟教育のための科学基礎 栄養学	兼担	教授	熊谷 晶子 (69) 《平成28年4月》 博士 (農学) 自然科学概論 習職教育のための生物基礎 栄養学		兼担	教授	熊谷 晶子 (70) 〈平成28年4月〉 博士 (農学) 自然科学板論 看職教育のための生物基礎 栄養学	兼担	教授	熊谷 晶子 (711) 〈平成28年4月〉 博士(農学) 自然科学版論 考醒教育のための生物基礎 栄養学
兼担	教授	三本木 温 (47) <平成28年4月> 博士(体育科学) スポーツの科学													
			兼担	教授	未羽 卓朗 (66) <平成28年4月> 修士(教育学) 社会福祉振論	兼担	教授	宗羽 卓朝 (67) 〈平成28年4月〉 修士 (教育学) 社会福祉振論		兼担	教授	赤羽 卓朝 (68) 〈平成28年4月〉 修士(教育学) 社会福祉振論		教授	赤羽 卓朝 (69)〈平成28年4月〉 修士(教育学)社会福祉報酬
兼担	准教授	#元 紀子 (43) <平成28年4月> 博士 (農学) 微生物学	兼担	教授	井元 紀子 (43) <平成28年4月> 博士 (農学) 微生物学	兼担	教授	井元 紀子 (44) (平成28年4月) 博士 (農学) 微生物学		兼担	教授	井元 紀子 (45) <平成28年4月> 博士 (農学) 微生物学	兼担	教授	#元 紀子 (46) 《平成28年4月》 博士 (農学) 微生物学
兼担	准教授	渡邉 陵由 (37) 《平成28年4月> 修士(体育科学) スポーツの科学 健康医療総論 解剖生理学 I	兼担	准教授	渡邊 陵由 (38) <平成28年4月> 修士(体育科学) 健康医療総論 解剖生理学Ⅱ 解前生理学Ⅱ	兼担	准教授	渡邉 陵由 (39) 《平成28年4月》 修士(休育科学) 健生(休育科学) 健康医療秘論 解剖生理学 I 解剖生理学 I		兼担	准教授	渡邊 陵由 (40) 《平成28年4月》 修生(依會科学) 健康医療総論 解剖生理学 I 解剖生理学 I	兼担	准教授	渡邉 陵由 (41) 《平成28年4月》 修士(体育科学) 健康医療総論 解剖生理学 I 解剖生理学 I
兼担	准教授	金地 美知彦 (42) <平成28年4月> 修士(文学) 心の科学 健康医療総論	兼担	准教授	金地 美知彦 (42) <平成28年4月> 修士(文学) 心の科学 健康医療総論	兼担	准教授	金地 美知彦 (43) <平成28年4月> 修士(文学) 心の科学 健康医療総論		兼担	准教授	金地 美知彦 (44) <平成28年4月> 修士(文学) 心の科学 健康医療総論	兼担	准教授	金地 美知彦 (45) <平成28年4月> 修士(文学) 心の科学 健康医療総論
兼担	講師	小柳 達也 (33) <平成28年4月> 修士(社会福祉学) 社会福祉学) 社会福祉等 健康医療総論	兼担	講師	小柳 達也 (33) <平成28年4月> 修士(社会福祉学) 社会福祉保險 健康医療総論	兼担	講師	小柳 達也 (34) <平成28年4月> 修士(社会福祉学) 社会福祉学) 健康医療総論		兼担	講師	//柳 達也 (35) <平成28年4月> 修士(社会福祉学) 社会福祉学 社会福祉等 健康医療総論	兼担		小柳 達也 (36) 《平成28年4月》 (第士(社会福祉學) 社会福祉概論
													*	准款授	井川 間弘 (48) (平成31年4月) 修士(法学) 宗教学 キリスト教報論 哲学 生命と倫理 歴史学
兼担	助教	工藤 祐太郎 (29) <平成28年4月> 修士(体育科学) スポーツの科学	兼担	助教	工藤 祐太郎 (29) 〈平成28年4月〉 修士(体育科学) スポーツの科学	兼担	助教	工藤 祐太郎 (30) 〈平成28年4月〉 修士(体育科学) スポーツの科学		兼担	銀師	工藤 祐太郎 (31) 〈平成28年4月〉 修士(体育科学) スポーツの科学	兼担	鉄師	工藤 祐太郎 (32) 〈平成28年4月〉 修士(体育科学) スポーツの科学
			兼担	助教	総谷 貴志 (30) <平成28年4月> 修士(教育学) スポーツの科学	兼担	助教	総谷 貴志 (31) <平成28年4月> 修士(教育学) スポーツの科学		兼担	鉄師	総谷 貴志 (32) 〈平成28年4月〉 修士(教育学) スポーツの科学	兼担	18 (4)	総谷 貴志 (33) <平成28年4月> 修士(教育学) スポーツの科学
兼担	助教	嶋崎 綾乃 (28) <平成28年4月> 修士 (体育学) スポーツの科学	兼担	助教	嶋崎 綾乃 (28) <平成28年4月> 修士(体育学) スポーツの科学	兼担	助教	嶋崎 綾乃 (29) 〈平成28年4月〉 修士(体育学) スポーツの科学		兼担	助教	嶋崎 綾乃 (30) <平成28年4月> 修士(体育学) スポーツの科学	兼担		佐貫 綾乃 (31) 〈平成28年4月〉 修士(体育学) スポーツの科学
兼担	教授	村本 卓 (55) <平成28年4月> 学士(工学) 情報処理基礎	兼担	教授	村本 卓 (55) <平成28年4月> 学士(工学) 情報処理基礎	兼担	教授	村本 卓 (56) 〈平成28年4月〉 学士(工学) 情報処理基礎		兼担	教授	村本 卓 (57) <平成28年4月> 学士(工学) 情報処理基礎	兼担	教授	村本 卓 (58) <平成28年4月> 学士(工学) 情報処理基礎
兼担	教授	B. グロスマン (50) <平成28年4月> 修士(言語学) 英語 I 英語コミュニケーション	兼担	教授	B. グロスマン (50) 〈平成28年4月〉 修士(言語学) 英語I 英語コミュニケーション	兼担	教授	B. グロスマン (51) 〈平成28年4月〉 修士(言語学) 英語! 英語コミュニケーション		兼担	教授	B. グロスマン (52) 〈平成28年4月〉 修士(言語学) 英語 I 英語コミュニケーション	兼担	教授	B. グロスマン (53) 〈平成28年4月〉 修士(書語学) 英語 I 英語 I 英語コミュニケーション
兼担	教授	樺 克裕 (50) <平成28年4月> 博士 (経済学) 政治学	兼担	教授	權 克裕 (50) <平成28年4月> 博士 (経済学) 政治学	兼担	教授	# 克裕 (51) <平成28年4月> 博士(経済学) 政治学							

専任・ 兼担・		氏 名	専任・ 兼担・		氏 名	専任・兼担・		氏 名	専任・ 兼担・		氏 名	専任・ 兼担・		氏 名
兼任 の別	職名	(年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	兼担・ 兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼任 の別	職名	(年 齢) (年 齢) (就任 (予定)年月> 保有学位等	兼任 の別	職名	(年 齢) <就任 (予定)年月> 保有学位等	兼任 の別	職名	(年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名 坂本 青博			担当授業科目名 坂本 貴博	_		担当授業科目名 坂本 貴博		ļ	担当授業科目名 坂本 貴博			担当授業科目名 坂本 青博
兼担	准教授	(53) 〈平成28年4月〉 学士(商学)	兼担	教授	(53) <平成28年4月> 学士 (商学)	兼担	教授	(54) 〈平成28年4月〉 学士 (商学)	兼担	教授	(55) <平成28年4月> 学士(商学)	兼担	教授	(56) <平成28年4月> 学士(商学)
		情報処理基礎 齊藤 綾美 (42)			情報処理基礎 齊藤 綾美 (42)			情報処理基礎 齊藤 綾美 (43)			情報処理基礎 齊藤 綾美 (44)			情報処理基礎 齊藤 綾美 (45)
兼担	准教授	(42) <平成28年4月> 博士 (文学) 社会学	兼担	准教授	✓亚d=20在4日~	兼担	准教授	/ 巫成28年4日 \	兼担	准教授	✓亚成28年4日~	兼担	准教授	<平成28年4月> 博士(文学) 社会学
		国際関係論 田村 正文			国際関係論 田村 正文	-		国際関係論 田村 正文	-		国際関係論 田村 正文	-		国際関係論 田村 正文
兼担	准教授	(39) <平成28年4月> 博士(情報科学)	兼担	准教授	博士 (情報科学)	兼担	准教授	博士 (情報科字)	兼担	准教授	博士 (情報科字)	兼担	准教授	(43) <平成28年4月> 博士 (情報科学)
		数学 保健統計学 I G. アンソニー			数学 保健統計学 I G. アンソニー	-		数学 保健統計学 I G. アンソニー			数学 保健統計学 I G. アンソニー			数学 保健統計学 I G. アンソニー
		(43) 〈平成28年4月〉 修士(応用言語学)			(43) <平成28年4月> 修士(応用言語学)			(44) <平成28年4月> 修士(応用言語学)			(45) <平成28年4月> 修士(応用言語学)			(46) <平成28年4月> 修士(応用言語学)
兼担	講師	英語 I 英語 II 英語 (TOEIC) I	兼担	准教授	英語 II 英語 (TOEIC) I 英語 (TOEIC) II	兼担	准軟包	英語 I 英語 (TOEIC) I 英語 (TOEIC) II	兼担	准教授	英語 II 英語 (TOEIC) I 英語 (TOEIC) II	兼担	准教授	美語 I 英語 II 英語 (TOE1C) I
		英語(TOEIC) II 海外事情 空垣 憶多			海外事情 柴垣 博孝			海外事情 柴垣 博孝			海外事情 柴垣 博孝			英語(TOEIC)Ⅱ 海外事情 柴垣 博孝
兼任	講師	(62) 〈平成28年4月〉 学士(文学)	兼担	准教授	*塩	兼担	准备包	(63)	兼担	准教授	(64)	兼担		(65) <平成28年4月> 学士(文学)
		日本語リテラシー日本語表現リテラシー			日本語リテラシー 日本語表現リテラシー			日本語リテラシー 日本語表現リテラシー			日本語リテラシー日本語表現リテラシー			日本語リテラシー 日本語表現リテラシー
			兼担	准教授	高須 則行 (56) <平成28年4月>	兼担	准备担	高須 則行 (57) <平成28年4月>	兼担	准軟授	高須 剛行 (58) <平成28年4月>	兼担		高須 則行 (59) <平成28年4月>
					修士 (法学) 日本国憲法			修士 (法学) 日本国憲法		<u> </u>	修士(法学) 日本国憲法 松井 克明			修士(法学) 日本国憲法 松井 克明
									兼组	M (4)	(45) <平成30年4月>	兼担	20.00	(45) <平成30年4月>
		戸村 春樹				-					修士 (経済学) 政治学	_		修士 (経済学) 政治学
兼任	講師	(68) <平成28年4月> 修士(美術学)												
		芸術論 デザイン論			佐倉 巧			佐置 巧		<u> </u>	佐貴 巧			佐倉 巧
			兼任	講師	(33) <平成28年10月>	兼任	跳師	(34) <平成28年10月>	兼任	銀師	(35) <平成28年10月>	兼任		(36) <平成28年10月>
					修士 (美術学) 芸術論 デザイン論			修士(美術学) 芸術論 デザイン論			修士 (美術学) 芸術論 デザイン論			修士 (美術学) 芸術論 デザイン論
兼任	講師	石岡 れい子 (68) <平成28年4月>	兼任	講師	石岡 れい子 (61) <平成28年4月>	兼任	講師	石岡 れい子 (62) <平成28年4月>	兼任	講師	石岡 れい子 (63) <平成28年4月>	兼任	講師	石岡 れい子 (64) <平成28年4月>
		修士(教育学) 行動の科学 佐々木 てる			修士(教育学) 行動の科学 佐々木 てる			修士(教育学) 行動の科学 佐々木 てる			修士(教育学) 行動の科学 佐々木 てる			修士(教育学) 行動の科学
兼任	講師	(48) 〈平成28年4月〉 博士(社会学)	兼任	講師	(48) <平成28年4月> 博士(社会学)	兼任	講師	(49) <平成28年4月> 博士(社会学)	兼任	講師	(50) <平成28年4月> 博士(社会学)			
		歴史学 玉懸 義和 (77)			歴史学 玉懸 義和 (77)	-		歴史学 玉懸 義和 (78)			歷史学			
兼任	講師	<平成29年4月> 学士(薬学)	兼任	講師	<平成29年4月> 学士(薬学)	兼任	講師	<平成28年4月> 学士(薬学)						
		美理学 大西 基喜 (66)				<u> </u>		東理学 大西 基喜 (67)			大西 基喜 (68)			大西 基喜 (69)
兼任	講師	<平成30年4月> 博士 (医学) 保健医療福祉行政論 I	兼任	講師	<平成30年4月> 博士 (医学) 保健医療福祉行政論 I	兼任	講師	<平成30年4月> 博士 (医学) 保健医療福祉行政論 I	兼任	講師	<平成30年4月> 博士 (医学) 保健医療福祉行政論 I	兼任	講師	<平成30年4月> 博士(医学) 保健医療福祉行政論 I
兼任	講師	末廣 敏昭 (70) <平成30年4月>	兼任	講師	末廣 敏昭 (70) <平成30年4月>	兼任	講師	末廣 敏昭 (71) <平成30年4月>	兼任	講師	末廣 敏昭 (72) <平成30年4月>	兼任	講師	末廣 歓昭 (73) <平成30年4月>
AIN 12		修士 (法学) 保健医療福祉行政論 II 今 明秀			修士 (法学) 保健医療福祉行政論 II	-		修士 (法学) 保健医療福祉行政論 Ⅱ 今 明秀		477	修士 (法学) 保健医療福祉行政論 II 今 明秀	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		修士 (法学) 保健医療福祉行政論 II 今 明秀
兼任	講師	(57) <平成31年10月>	兼任	講師	今 明秀 (57) 〈平成31年10月〉	兼任	講師	(58) <平成31年10月>	兼任	講師	(59) <平成31年10月>	兼任	講師	(60) <平成31年10月>
-		博士 (医学) 救急看護 藤野 智子			博士 (医学) 救急看護 藤野 智子	-	-	博士(医学) 救急看護 藤野 智子			博士 (医学) 救急看護 藤野 智子	 -		博士 (医学) 救急看護 藤野 智子
兼任	講師	(45) <平成30年4月> 修士(看護学)	兼任	講師	(45) <平成30年4月> 修士(看護学)	兼任	講師	(46) <平成30年4月> 修士(看護学)	兼任	講師	(47) <平成30年4月> 修士(看護学)	兼任	講師	(48) <平成30年4月> 修士(看護学)
		災害看護 田中 完 (57)			災害看護 田中 完 (57)	\vdash		災害看護 田中 完 (58)			災害看護 田中 完 (59)	\parallel		災害看護 田中 完 (60)
兼任	講師	<平成30年4月> 博士(医学) 小児看護援助論	兼任	講師	<平成30年4月> 博士 (医学) 小児看護援助論	兼任	講師	<平成30年4月> 博士(医学) 小児看護援助論	兼任	講師	<平成30年4月> 博士(医学) 小児看護援助論	兼任	講師	<平成30年4月> 博士 (医学) 小児看護援助論
		上村 みさを (65) <平成28年4月>			上村 みさを (66) <平成28年4月>			上村 みさを (67) <平成28年4月>			上村 みさを (68) <平成28年4月>			上村 みさを (69) <平成28年4月>
兼任	講師	専門学校 基礎看護学実習 I	兼任	講師	専門学校 基礎看護学実習 I	兼任	講師	専門学校 基礎看護学実習 I	兼任	講師	専門学校 基礎看護学実習 I	兼任	講師	専門学校 基礎看護学実習 I
-		成人看護学実習 II 統合看護実習 村中 成子			成人看護学実習 II 統合看護実習 村中 成子	<u> </u>		成人看護学実習 II 統合看護実習 村中 成子	_		成人看護学実習 II 統合看護実習 村中 成子	\parallel		成人看護学実習 Ⅱ 統合看護実習
兼任	講師	(64) <平成30年10月> 専門学校	兼任	講師	(64) <平成30年10月> 専門学校	兼任	講師	(65) <平成30年10月> 専門学校	兼任	講師	(66) <平成30年10月> 専門学校			
		成人看護学実習 I 成人看護学実習 I			成人看護学実習 I 成人看護学実習 II			成人看護学実習 I 成人看護学実習 II			成人看護学実習 I 成人看護学実習 I			
		統合看護実習 花田 聡子 (62)			統合看護実習 花田 聡子 (62)			統合看護実習 花田 聡子 (63)			統合看護実習			
兼任		<平成30年10月> 専門学校 成人看護学実習 I	兼任	講師	<平成30年10月> 専門学校 成人看護学実習 I	兼任	講師	<平成30年10月> 専門学校 成人看護学実習 I						
		成人看護学実習 Ⅱ 精神看護学実習 統合看護実習			成人看護学実習 II 精神看護学実習 統合看護実習			成人看護学実習 Ⅱ 精神看護学実習 統合看護実習						
兼任	講師	松本 和子 (69) <平成30年10月>			_									
NV IT		マー成30年10月ン 専門学校 母性看護学実習												

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) (京 (年 年) (京 (年 年) (京 (年) (京 (年) (京 (年) (京 (年) (京 (年) (日 (専任・ 兼担 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) (就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
兼任	講師	担当授業科目名	兼任	講師	担当授業科目名	兼任	講師	担当授業科目名 小出 るみ子 (47) 《平成29年10月 > 専門学校 基礎看護学実習 I 成人看護学実習 I	兼任	講師	担当授業科目名 小出 るみ子 (48) 〈平成29年10月〉 専門学校 基礎者護学実習 I 成人者護学業習 I	*	助手	担当授業科目名 小田 &み子 (49) 《平成29年10月》 学士(敬養学)
兼任	講師	玉懸 多惠子 (64) 〈平成29年10月〉 専門学校 日常生活援助論 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 I	兼任	講師	玉懸 多恵子 (64) <平成29年10月> 専門学校 日常生活援助論 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 I	兼任	講師	玉態 多恵子 (65) 〈平成29年10月〉 専門学校 日常生活援助論 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 I						
兼任	講師	小笠原 陽子 (63) <平成29年10月> 専門学校 回復促進援助論 基礎看護学実習 I	兼任	講師	小笠原 陽子 (63) <平成29年10月> 専門学校 回復促進援助論 基礎看護学実習 I	兼任	講師	小笠原 陽子 (64) 〈平成29年10月〉 専門学校 回復促進援助論 基礎看護学実習 I						
兼任	講師	基礎看護学実習 II			基礎看護学実習Ⅱ			基礎看護学実習Ⅱ						
			兼任	10 (4)	極咎 伸夫 (67) <平成28年10月> 学士(教育学) 地域文化論	兼任	軟飾	を答 伸夫 (68) 〈平成28年10月〉 学士(教育学) 地域文化論 今井 悠	兼任	納師	を答 伸夫 (69) <平成28年10月> 学士(教育学) 地域文化論 今井 悠	兼任	**	を答 伸夫 (70) <平成28年10月> 学士(教育学) 地域文化論 今井 悠
						兼任	糖師	(32) <平成29年5月> 李士(医学) 病態学 I 病態学 I 素能学 I	兼任	禁師	(33) <平成29年5月> 学士(医学) 病態学 I 病態学 I 業下 昌道	兼任	at m	(33) 《平成29年5月》 学士(医学) 病語学 I 病語学皿 ※下 昌道
						兼任	腺師	(55) 《平成29年5月》 博士(医学) 病藤学 I 三宅 良彦	兼任	100 (100	(56) 〈平成29年5月〉 博士(医学) 病筆学I 三名 良家	兼任	18 M	(57) 《平成29年5月》 博士 (医学) 病職学 I 三宅 良彦
						兼任	跳師	(69) 〈平成29年6月〉 博士(医学) 病離学 I	兼任	計師	(70) 《平成29年6月》 博士(医学) 病筆学 I	兼任	計師	(71) 《平成29年6月》 博士(医学) 病態学 I
						兼任	銀師	マ東は29年7月> 博士(医学) 病態学車 山内 順生 (49) マ平成29年10月>	兼任	計算	< 平成29年7月 > 博士 (医学) 病態学Ⅲ 山内 崇生 (50) < 平成29年10月 >	兼任		<平成29年7月> 博士(医学) 病態学車 山内 順生 (51) <平成29年10月>
						兼任	B. 65	博士 (医学) 病態学77 土井 三乙 (84) <平成29年9月>	-		本土 (医学) 東土 (医学) 東藤学订			************************************
						兼任	おか	博士 (医学) 病態学取 小西 和網 (67) 〈平成29年10月〉 博士 (医学)	兼任	計師	小西 和崩 (68) <平成29年10月> 博士(医学)			
						兼任	鉄師	病態学以 木村 百子 (56) 《平成29年12月》 博士(医学)	兼任	計師	病筆学び 木村 百子 (57) 〈平成29年12月〉 博士 (医学)	兼任	18 HF	木村 百子 (58) 《平成29年12月》 博士(医学)
						兼任	歌師	深澤 隆 (43) 《平成29年12月》 博士 (医学) 病態学77 吉田 洋一	兼任	素何	票等 隆 (44) <平成29年12月> 博士(医学) 病態学IV 吉田 洋一	兼任	28.66	無導権 (45) <平成29年12月> 博士(医学) 病態学IV
						兼任	18 69	(42) <平成29年10月> 学士(書学) 病藤学河 田名都 茂	兼任	計師	(43) 〈平成20年10月〉 学士(畫学) 病態学IV 田名都 茂	兼任	***	(44) 《平成29年10月》 学士(曲学) 病態学以 田名都 茂
						兼任	の	(48) <平成29年11月> 修士(医学) 病態学取 後藤 高志 (58)	兼任	計師	(49) 《平成29年11月》 修士(医学) 病態学IV 後藤 高志 (59)	兼任	10 IN	(50) <平成28年11月> 修士(医学) 病態学取 後藤 高志 (60)
						兼任		《平成30年1月》 博士 (医学) 母性者膜学療験	兼任	計算	<平成30年1月> 博士(医学) 発性者護学振飾 村井 禁夫 (73) <平成30年4月>	兼任	計師	マ平成30年1月> 博士 (医学) 母性骨膜学療施
									兼任	***	博士 (集学) 東理学 山下 特志 (34) <平成30年4月>	**	RM	山下 報志 (35) <平成30年4月>
									兼任	計師	専門士 (医療) 災害者譲活動論 川畑 仁人 (51) <平成30年4月> 博士 (医学)	兼任	18 10	専門士 (医療) 災害者養活動施 川畑 仁人 (52) <平成30年4月> 博士 (医学)
									兼任	禁師	病態学 I 臭瀬 干晃 (50) 《平成30年4月》 (本土 (医学) 病態学 I	兼任	18 M	病療学 I 泉瀬 千晃 (51) 〈平成30年4月〉 博士(医学) 病療学 II
									兼任	計解	中板 愛子 (61) <平成30年4月> 専門学校 基礎者標学実習 I 基礎者標学実習 I	兼任	ma	中板 便子 (62) <平成30年4月> 専門学校 基礎者数学実習 I 基礎者数学実習 I
											成人者競學與者 I 成人者競學與者 I	兼任	MA	成人看懷学実置 I 成人看懷学実置 I 山谷 眞吾 (85) 〈平成31年4月〉 博士 (医学) 病態学 I

the for	_			- Arr	_		 the for				+ 60				+ 40		
専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	兼	単任・ 製担・ 製任)別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名				担当授業科目名			担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名
															兼任	鉄師	小池 智慧 (61) 〈平成31年4月〉 博士 (集学) 稟選学
																	川野 京智子 (60) 〈平成31年4月〉 修士(看觀学)
															兼任	**	日常生活援助論 回復促進援助論 基礎者數學実習 I 基礎者數學実習 I 統合者數學 軟合者數與習
															兼任	教授	三浦 文章 (57) <平成31年4月> 学士 (システム理学) 英語 I 英語 I
															兼担	教授	水野 貞佐夫 (64) 〈平成31年4月〉 博士 (学術) 健康医療総論
															兼担	准教授	吉田 守実 (56) 〈平成31年4月〉 修士(社会福祉学) 健康医療機論
															兼任	撤解	今野 文博 (59) 〈平成31年4月〉 博士 (医学) テーム医療論
										1				1 F			

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 「認可時又は届出時か」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼出教員を含む。)を黒字で記入してください。
 ・ 在の上で、**認可能又は周出時からを更となっている時所は未予の表生としてください。**・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 ・ 年齢は、**子ルぞれの年度の5月1日時点の選年職**を記入してください。
 ・ 専任、「専門職大学等は専、実等、実、等、研)、実み)、兼担、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

【平成28年度】

```
・加質谷紀子専任准教授、一身上の都合により就任辞退。
・蛯名きえ専任講師、体調不良により就任辞退。
・蛯名きえ専任講師、体調不良により就任辞退。
・熊谷晶子兼担教授、本務学科の都合で「看護教育のための科学基礎」から「看護教育のための科学基礎」へ担当科目を変更。
・高橋正知専任教授ならいに壬生寿子専任准教授、「デーム医療論」をオムニバス形式となるため科目内容の変更。H28年1月教員審査済。
・高橋正知専任教授ならいに壬生寿子専任准教授、「デーム医療論」をオムニバス形式となるため科目内容の変更。H28年1月教員審査済。
・三本木温兼担教授、松育体刊作り、後任として総合貴志兼担助教を新規採用。
・井元紀子兼担准教授、本務学科で准教授から教授へ昇格。
・波遷陸由兼担推教授、本務学科で推教授が会務と明格。
・小神達也兼担推教授、本務学科の都合で「スポーツの科学」の兼担担当教員を変更。後任として赤羽卓朗兼担教授が担当。
・小神達也兼担推教授、本務学科の都合で「保護医療論」の兼担担当教員を変更。後任として赤羽卓朗兼担教授が担当。
・小神連也兼担推教授、本務学科で指教授の教授の昇格。
・G、アンソニー兼担講師、本務学科で講師から准教授へ昇格。
・G、アンソニー兼担講師、本務学科で講師から准教授へ昇格。
・G、アンソニー兼担講師、本務学科で講師から推教授へ昇格。
・G、アンソニー兼担講師、本務学科で講師がら近れためたクラス実施から1クラス実施へ変更のため科目担当なし。
・柴垣博孝兼任講師、本務学科で新規採用。
```

【平成29年度】

```
・蛭田由美専任教授、担当科目の追加。H29年10月変更屈提出予定。
- 壬生寿子専任准教授、担当科目の追加。H29年10月変更屈提出予定。
- 五生寿子専任准教授、担当科目の追加。H29年10月変更屈提出予定。
- 加賀令紀子専任権教授の就任辞退に伴い、「後任未定」H29年10月から専任教員採用するため公募中。
- 蛯名きえ専任講師の就任辞退に伴い、「後任未定」H29年10月から専任教員採用するため公募中。
- 蛯名きえ専任講師の就任辞退に伴い、「後任未定」H29年1月教員審査済。
- 平成29年10月西村美八専任准教授就任。H29年1月教員審査済。
- 木鎌耕一郎兼担教授の担当予定科目である「地域文化論」を教育効果を考慮し、柾谷伸夫兼担講師へ変更。
- B・グロスマン兼担教授、「英語Ⅱ」の履修者が少ないため2クラス実施から1クラス実施へ変更のため科目担当なし。
- 玉懇多恵子兼任講師、「日常佐進援助論」ならびに「基礎看護学実習1」は、H28年度入学生が69名のため科目担当なし。
- 小笠原陽子兼任講師、「回復促進援助論」ならびに「基礎看護学実習1」は、H28年度入学生が69名のため科目担当なし。
- 今井悠兼任講師、教育効果を考慮し「病聴学Ⅰ」の担当教員として追加。
- 三宅良彦兼任講師、教育効果を考慮し「病聴学Ⅰ」の担当教員として追加。
- 山内崇生兼任講師、教育効果を考慮し「病聴学Ⅳ」の担当教員として追加。
- 山内崇生兼任講師、教育効果を考慮し「病聴学Ⅳ」の担当教員として追加。
- 小西和前兼任講師、教育効果を考慮し「病聴学Ⅳ」の担当教員として追加。
- 木村百子兼任講師、教育効果を考慮し「病聴学Ⅳ」の担当教員として追加。
- 末田清晰、教育効果を考慮し「病聴学Ⅳ」の担当教員として追加。
- 吉田洋一兼任講師、教育効果を考慮し「病聴学Ⅳ」の担当教員として追加。
- 吉田洋一兼任講師、教育効果を考慮し「病聴学Ⅳ」の担当教員として追加。
- 吉田洋一兼任講師、教育効果を考慮し「病聴学Ⅳ」の担当教員として追加。
- 吉田洋一兼任講師、教育効果を考慮し「病聴学Ⅳ」の担当教員として追加。
```

【平成30年度】

・加賀谷紀子准教授の後任として、平成30年4月大崎瑞恵講師就任。H29年11月教員審査済。 ・工藤祐太郎兼担助教、本務学科で助教から講師へ昇格。 ・総谷貴志兼担助教、本務学科で助教から講師へ昇格。 ・起祭義和発信講師に代わり、村井柴夫兼任講師を担当教員として変更。 ・山下将志兼任講師、教育効果を考慮し「災害看護活動論」の担当教員として追加。 ・川畑仁人兼任講師、教育効果を考慮し「病聴学Ⅱ」の担当教員として追加。 ・奥瀬千晃兼任講師、教育効果を考慮し「病聴学Ⅱ」の担当教員として追加。 ・奥瀬千晃兼代講師、教育効果を考慮し「病聴学Ⅱ」の担当教員として追加。 ・中坂愛子兼任講師、教育効果を考慮し「病聴学Ⅱ」の担当教員として追加。

【令和元年度】

```
・小沢久美子准教授、准教授から教授へ職位の変更。平成30年11月教員審査済。
・山野内靖子講師、講師から准教授へ職位の変更。平成30年11月教員審査済。
・坂本保子講師、講師から准教授へ職位の変更。平成30年11月教員審査済。
・坂本保子講師、講師から准教授へ職位の変更。平成30年11月教員審査済。
・坂本保子講師、講師から准教授へ職位の変更。平成30年11月教員審査済。
・切明美保子助教、助教から講師へ職位の変更。平成30年11月教員審査済。
・切明美保子助教、助教から講師へ職位の変更。平成30年11月教員審査済。
・加州裕美力助教、助教から講師へ職位の変更。平成30年11月教員審査済。
・ボル路子助教、助教から講師へ職位の変更。平成30年11月教員審査済。
・坂本弘子講師退職に任い、その後任として平成31年4月教員審査済。
・久保宣子助手、助手から助教へ職位の変更。平成30年1月教員審査済。
・久保宣子助手、助手から助教へ職位の変更。平成30年1月教員審査済。
・平成31年4月寺尾琴助教就任。平成31年1月教員審査済。
・平成31年4月中尾琴助教就任。平成31年1月教員審査済。
・平成31年4月中間るみ子非常勤請師を早任助手として採用。
・本類却の謝兼担教授、短期大学部が護福州学科へ異動のため、その後任として井昭弘兼担准教授を追加。
・赤羽卓朗兼担教授、短期大学部が護福学科の異動のため、兼任教授へ変更。
・が刺達也講師、所属学科で教授に昇格。
・佐貫巧講師、所属学科で教授に昇格。
・佐貴政師所、所属学科で教授に昇格。
・佐貴政師所、所属学科で教授に昇格。
・「本院科学社教授、所属学科で教授に昇格。
・「本院科学社教授、所属学科で教授に昇格。
・「本院科学社教授、所属学科で教授に昇格。
・「本院科学社教授、所属学科で教授に昇格。
・「本院科学社教授、所属学科で教授に昇格。
・「本院科学社教授、所属学科で教授に昇格。
・「本庭教育の財産学者を考慮し「京郎学Ⅱ」の担当教員として追加。
・「小路智彦兼任講師、教育効果を考慮し「日常生活援助論」「回復促進援助論」「基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ」「統合看護演習」の担当教員として追加。
・「小路看養・田師師、教育効果を考慮し「日常生活援助論」「回復促進援助論」「基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ」「統合看護演習」の担当教員として追加。
```

- (注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ **窓可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査 (AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
 - 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
 - なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
12	6
名	名

(注)・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専仟教員数【大学】

	Ē	役置時の計画	a			現在	(報告時) 0	D状況	
教 授	准教授	講師	助教	計 (A)	教 授	准教授	講師	助教	計 (B)
9	3	6	6	24	10	5	5	5	25
(4)	(3)	(6)	(6)	(19)					
Į	見在(報告	寺)の完成4	∓度時の状況	兄	3	現在 (報告問	寺)の完成年	₣度時の計画	ΕĪ.
教 授	准教授	講師	助教	計 (C)	教 授	准教授	講師	助教	計 (D)
10	5	5	5	25	10	5	5	5	25
[1]	[2]	[Δ1]	[Δ1]	[1]	[1]	[2]	[\(\Delta 1 \)]	[△1]	[1]

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、「現在(報告時)の状況」に配入した数字に、数員審査を受害済みであり、
 - 完成**年度までに就任する教員教を加えた教を配入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

(2) - ③ 年齢構成

	年齢構成	
定年規定の定める 定年年齢 (歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	7	7
歳	名	名

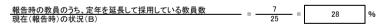
- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

 - (2) ④ 設置時の計画に対する教員充足率



- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - (2) 一⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率



(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) 一① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	号職 "	車 専任教	改員氏名	時期	必修・選択・自由の	担	当予定科目	後	壬補充状	況	京	优任辞证	艮(未	:就任) の理	由	
					必修	高齢	者看護援助	力論	1							
1	准教	受 加賀名	3 紀子	H28. 3	必修	高齢:	者看護学実	習 I	1		_ é. i	トの押る	>1− F	り就任辞退	(20)	
'	/庄敦	プ 川貝1	→ #C T	п20. 3	必修	高齢:	者看護学実	習Ⅱ	1		一身」	しの他に	1-6	り別は許返	(20)	
					必修	看	護卒業研究	2	1							
					必修	精神	申看護援助	論	1							
					必修	精礼	申看護学実	習	1							
2	講師	蛯名	きえ	H28. 3	必修	統	合看護実習	3	1		/+=	田不白に	1.1	就任辞退(201	
	神中	北口	21	1120. 3	必修		基礎演習		1		144 1	同小氏い	- & 9	机压许这(20)	
					必修	プレ	ゼンテーシ	ョン	3							
					必修	看	護卒業研究	2	1							
			合計	(D)						往	後任補充状況	の集計	(E))		
	就任を	辞退した教	7員数	担当科	目数の合計	(a) +	(b) + (c)	①の合	計数(a)	②の合計	十数(b)	③の合計	十数 (c)
				必	修	10	科目	必修	10	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	_			選	択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	2		人	自	由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
				į	†	10	科目	計	10	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) · 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、 「就任辞退 (未就任) の理由」に就任辞退の理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番	号	職	位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由	の別	担当予定科目	後任	補充状	況		辞	任等	の理由		
				合計	(F)						後	经任補充状況	の集計	(G))		
		辞	任し	ンた教員数	担当科	目数の合計	† (a)	+ (b) + (c)	①の合言	†数(a)	②の合計	】数(b)		③の合計	数(c)
					必	修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
					選	択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			0	A	自	由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
					Ī	+	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員についてに記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」

 - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -3 上記(3) -1 ・ (3) -2 の合計

	合計(D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計	十数 (a)	②の合計	十数(b)	③の合計数 (c)				
		必修	10	科目	必修	10 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
_		選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目		
2	Α	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	10	科目	計	10 科目	計	0 科目	計	0 科目		

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)-③合計(D)+(F) (2)-②設置時の計画(A)

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番	号	職	位	専任教員氏	名	必修・選択・自由の別	担当	予定科目	後任補充	状況			辞任	E等の	理由		
<u> </u>																	
					É	L 計						後任補充料	犬況の第	計			
		辞	任l	した教員数		担当科目数の合	計 (a) +	(b) + (c)	①の合計	十数 (a)		②の合計	数 (b)		③の合計	数(c)
						必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
						選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			0		人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
						計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、<mark>赤字</mark>にて記入するとともに、「辞任等の理由」 に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」~「③」から選択し、 「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

 - ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
- (4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

今後も教員組織の充実を図っていく。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、 今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項	等	履行状況		今後の の実施計画
認 可 時 (27年8月)	1. リベラルアーツ科目の一ツ単位に、できません。 1. リベラルで 1 単位に、できません。 1. のがあられるでは、にいいでは、できないが、にいいでは、できないが、にいいでは、できないが、にいいでは、できないが、にいいが、にいいが、にいいが、にいいが、にいいが、できないが、にいいが、できないが、にいいが、できないがいいがいが、できないがいいいがいが、できないがいいいがいがいいいいがいがいいいがいがいいいがいがいいいがいがいがいいいいい	留意事項	リベラルアーツ科目の1部科目で、配当単位数を2単位から1単位へ変更した科目の授業時間数は、全て30時間を確保している。授業科目の内容については、申請した授業科目の概要に進じて授業を行なっている。		
	2. 教員の補充を必要とされた6授業科目については、開設時又は料目開講時までに確実に専任教員を配置して教員を充足すること。	留意事項	1 科目はH28年1月にAC 教員審査済。残り5科目に ついては、科目開設時まで に変更書を提出予定。 (28)	履行中	1科目について、平成30年度に変更書を提出し、現在審査中。(元) 5科目中4科目はH29年中に判定でついては、変更書を申請中(30) 5科目中3科目はH29年10月に変更書を提出予定。残目に変更書を提出予定。利目に変更書を提出予定。(29)
	3. 完成年度前に、定年 規程に定める退職員 超える事を を超るが比年のの を踏まえた を踏まえたと を踏まると を踏まると の将来 員組織 について は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	留意事項	教員組織編制の将来構想に ついて、中堅教員と若手教 員の育成計画に基づく昇格 人事及び新規教員の採用人 事に関する計画を策定予 定。(28)	履行中	H30年度に8名の教員が、AC 教員審査で判定可を受け た。今後も人事計画図 (元) 教員組織充実を図 (元) 教員組織編制の将来構想に 対量の育成計画に新規教員で成計画に新規教員の育ならびに 期に関する人事計画を策定 中である。(29)
	〇若手教員に博士号を取にするというでは、 一様のでは、 はないででは、 ではないでででである。 ででででででいますがでででででででででででででででででででででででででででででで	留意事項	博任すで博な予そで制る考育療験して取を開発したさが、取計あ、科特がれけ等するといるを構動したさがのいは負えを関すがある。 はなを構動し出せ、がの導えを関すがある。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	履行中	H30年度は、博士号所得者がいなかったが、今後も博士号を取得できるよう、支援していく。(元) H29年度に1名の教員が博士号を取得した。今後も博士号を取得した。(30)

設置計画履行状況調 査 時 (29年2月)	〇健康医療では 一健康医療では 一般では 一般では 一般では 一般では 一般では 一般で 一般で 一般で 一般で 一般で 一般で 一般で 一般で	(改善)	教員組織編制の将来構想に ついて、中堅教員と若手教 員の育成計画に基づく昇格 人事ならびに新規教員の採 用に関する人事計画を策定 中である。(29)	履行中	定年規程に定めている退職 年齢を超える割合が比較的 高いことから、教員公募を している。(元) 完成年度前に、定年規程に 定めている退職年齢を超え る割合が比較的高いるとか ら、教員採用の公募 いる。(30)
	〇同では 一設では 一設では 一設では 一設では 一設では 一設では 一設では 一でで でのので でののでで でので でので でいいで でので でいいでで でいいでで でいいでで でいいで でいいで でいいで でいでで でいいで でいで でいでで でいでで でいでで でいで でいで でいで でいで でいでで でいでで でいでで でいでで でいでで でいでで でいでで でいでで でいでで でいでで でいでで でいでで でいでで でいでで でいで でいで でいでで でいでで でいでで でいで でいでで でいで でいで でいで でいで でいでで でいでで でいでで でいでで でいで でいで でいで	指摘事項 (改善)	八戸学院大学短期大学部 (H29名称変更済)ライフデ ザイン学科について、H30年 4月に学生募集を停止し、 在学生がいなくなるのを 待って、ライフデザイン学 科を廃止する。(29)		
調査時	〇健康医院では 一般に 一般に 一般に 一般に 一般に 一般に 一般に 一般に	指摘事項 (改善)	完成年度前に、定年規程に 定めている退職年齢を超え る割合が比較的高いことか ら、教員採用の公募をして いる。 (30)	履行中	定年規程に定めている退職 年齢を超える割合が比較的 高いことから、教員公募を している。(元)
設置計画履行状況 調 査 時 (31年4月)	「該当なし」				

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u> 全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

〈健康医療学部 看護学科〉

(1) 設置計画変更事項等

	P容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD·SD活動含む)

① 実施体制

- a 委員会の設置状況
 - ・教授会のもと「ファカルティ・ディベロップメント(FD)委員会が設置されている。
 - ・FD委員会に関しては、別添の通り「八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部ファカルティ・ ディベロップメント (FD) 委員会規程」に規程している。
- b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)
 - ・4月1日に法人主催のFD研修会を全教職員対象に実施した。(法人主催)
 - ・4月1日に新任教員対象の研修会を実施した。
- c 委員会の審議事項等
 - ・教育活動改善のための方策に関すること
 - ・学生による授業評価の実施および結果分析に関すること
 - ・公開授業の実施、評価および結果分析に関すること
 - ・FD活動報告書等の刊行に関すること
 - その他FD活動に関すること

② 実施状況

- a 実施内容
 - ·法人SD研修会
 - ・新任教員のための研修会
 - ・新任教員向け授業支援システム研修会
 - 授業支援システム研修会(年数回予定)
 - ・外部講師による研修会もしくは FDワークショップ (年1回予定)
 - ・学生による授業評価アンケートの実施(年2回予定)
 - ・教員相互の授業評価アンケートの実施(年2回予定)
 - ・公開授業・授業参観の実施(年2回予定)
 - ・FDハンドブック (FD報告書) の作成 (年度終了後)
- b 実施方法
 - ・法人全教職員への研修会 辞令交付式終了後に実施した。
 - ・新任教員のための研修会

本学のFD活動に理解・協力を得るために学内のFD活動についての説明を実施した。

- ・新任教員向け授業支援システム研修会 本学で採用している授業支援システムの活用方法を実施した。
- c 開催状況(教員の参加状況含む)
 - ・新任教員のための研修会

4月1日に開催された「新任教員研修会」新任教員名(大学、短期大学部)に、FD委員長より活動内容

についての説明を実施した。

- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・今後の活動内容を有効活用するよう取り組む予定である。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期
 - ・今後の活動内容を有効活用するよう取り組む予定である。
 - b 教員や学生への公開状況,方法等
 - ・例年、冊子で刊行し、図書館で閲覧できるように設置している。
- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。
「該当なし」

(4) 自己点検・評価等に関する事項

1	設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 ・別紙のとおり
2	自己点検・評価報告書
а	・ 公表(予定)時期 ・平成30年10月 公表予定
b	・公表方法 ・自己点検・評価報告書を刊行しているが、外部への公表はHPで行なっている。 ・大学ホームページ上に公開予定(平成30年10月を予定)
3	認証評価を受ける計画 ・平成36年度に評価機関(公益財団法人日本高等教育評価機構)の評価を受けるべく、学内で検討中
() =	・) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を 含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書につ いて記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

0	設置計画履行状況報告書(令和元年度)	
á	a ホームページへの公表予定の有無	(有 · —無—)
k	公表有の場合の公表(予定)時期	(令和元年6月30日)
k	o 公表無の場合の特段の理由 ()

(注) · 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、 「無」にマルを記入してください。